

令和5年度版 柏市死亡小票分析

令和6年7月11日

目次

Section.0	調査概要及び人口データ	P.2
Section.1	全死亡者数の推移	P.10
Section.2	死亡診断書・死体検案書発行数の内訳	P.13
Section.3	“看取り死”の推移	P.16
Section.4	自宅での“看取り死”の推移	P.24
Section.5	その他のデータ	P.34

調査概要及び人口データ

人口動態調査死亡小票のサンプル

- 【今回分析に用いた死亡小票上の項目】

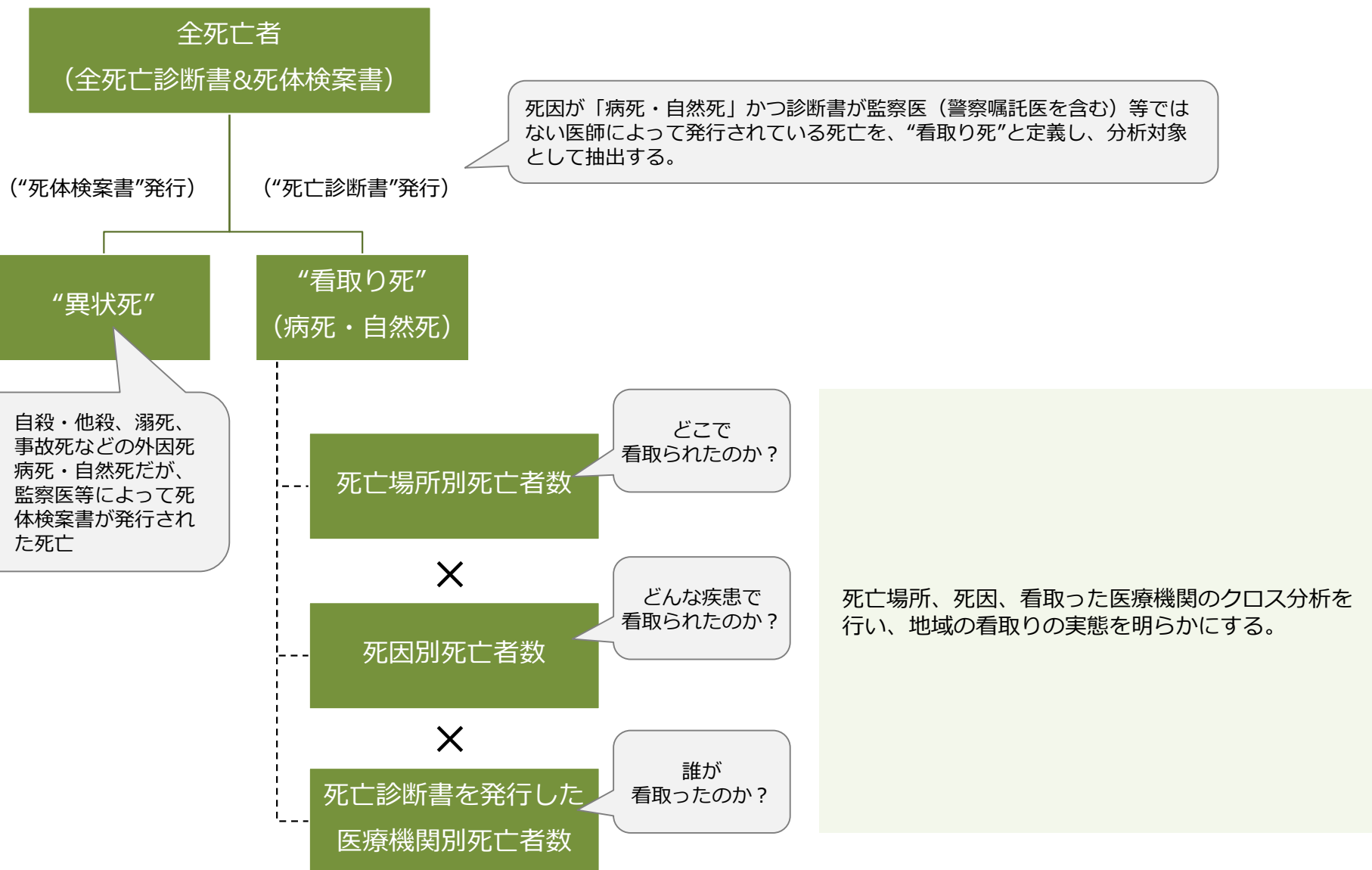
- 今回の分析では、柏市保健所の死亡小票、平成30年1月～令和4年12月の5年間、21,324件のデータを分析にかけた。各年のデータ数は下記のとおりである。

平成30年	3,762件
平成31年	3,961件
令和 2年	4,109件
令和 3年	4,459件
令和 4年	5,033件

計 21,324件

[illegible]

死亡小票分析のイメージ



死亡小票データの見取り図

“看取り死”を主な分析対象とします

死亡分類

異状死
(死体検案書発行)

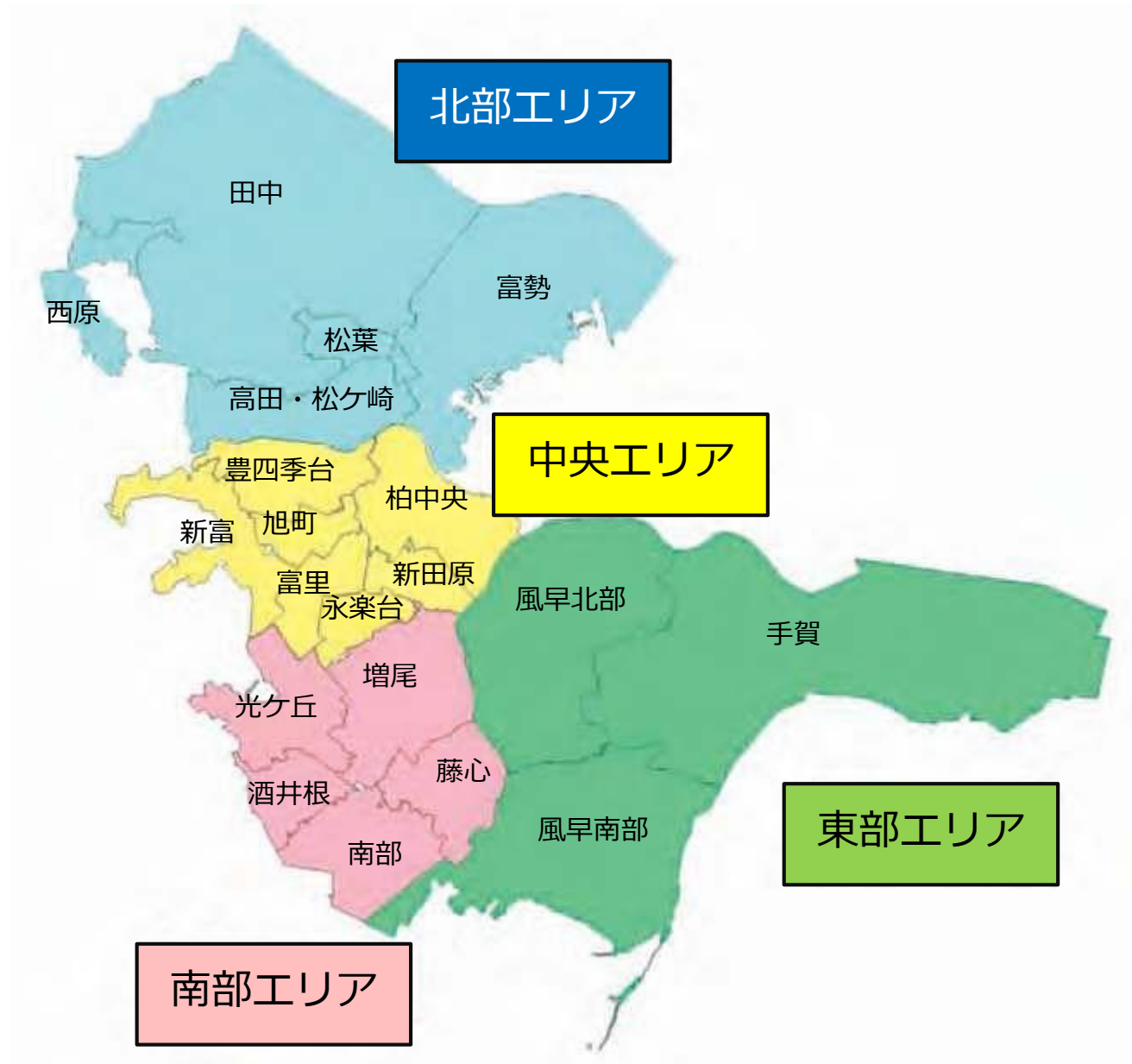
看取り死
(死亡診断書発行)

				死因	
	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	etc	病院
					診療所
					自宅
					老人ホーム*
					老健
					その他

死亡した場所の種類

*老人ホームには、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サ高住、グループホーム、その他老人ホームを含む

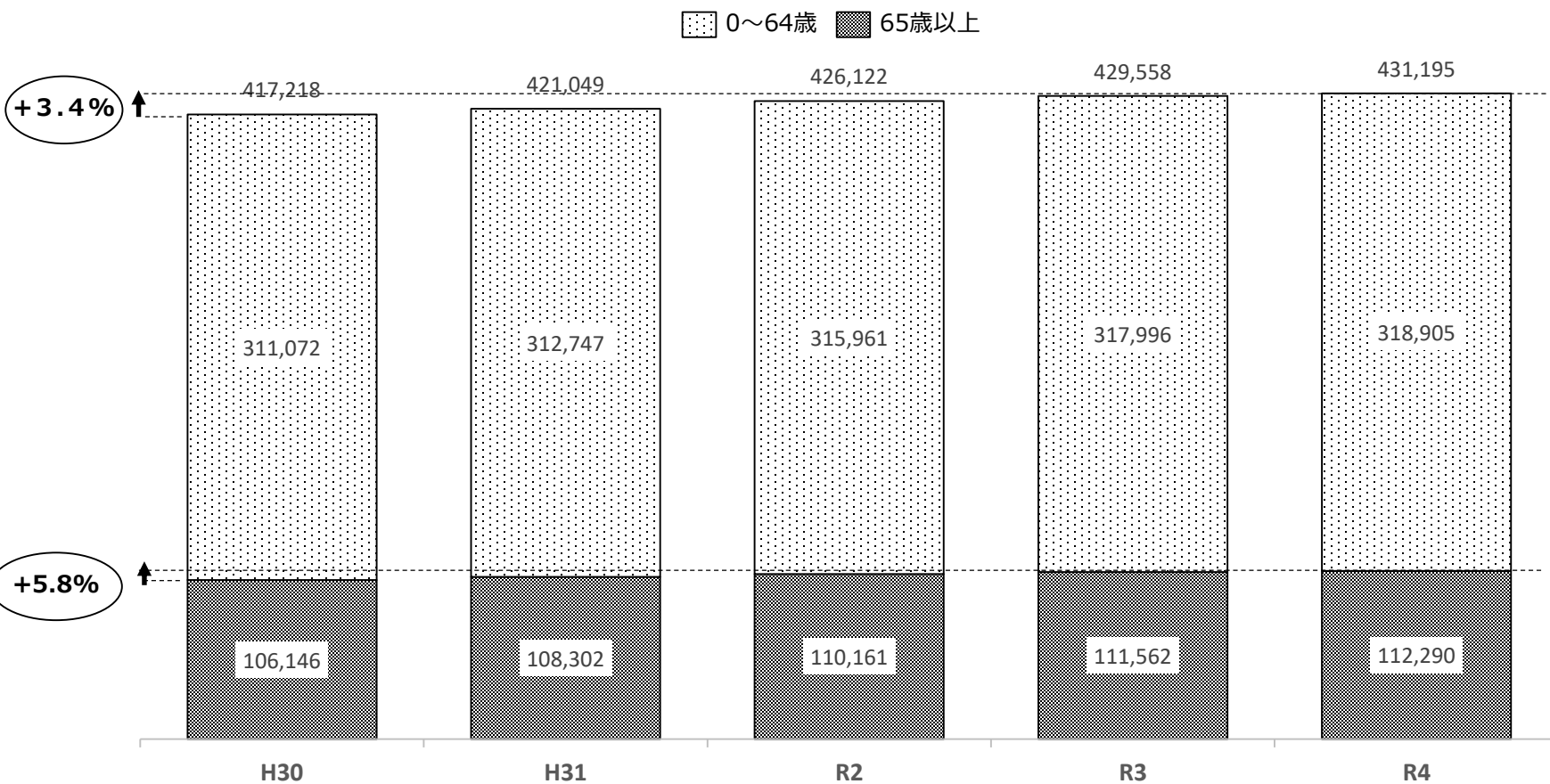
柏市のエリア（地域）の分け方



柏市の人口推移と高齢化率

- 人口は一貫して増加している。
- 平成30年から令和4年で全体3.4%に対して、65歳以上は5.8%増加している。

(単位：人)



柏市の人口推移と高齢化率（エリア別）（1/2）

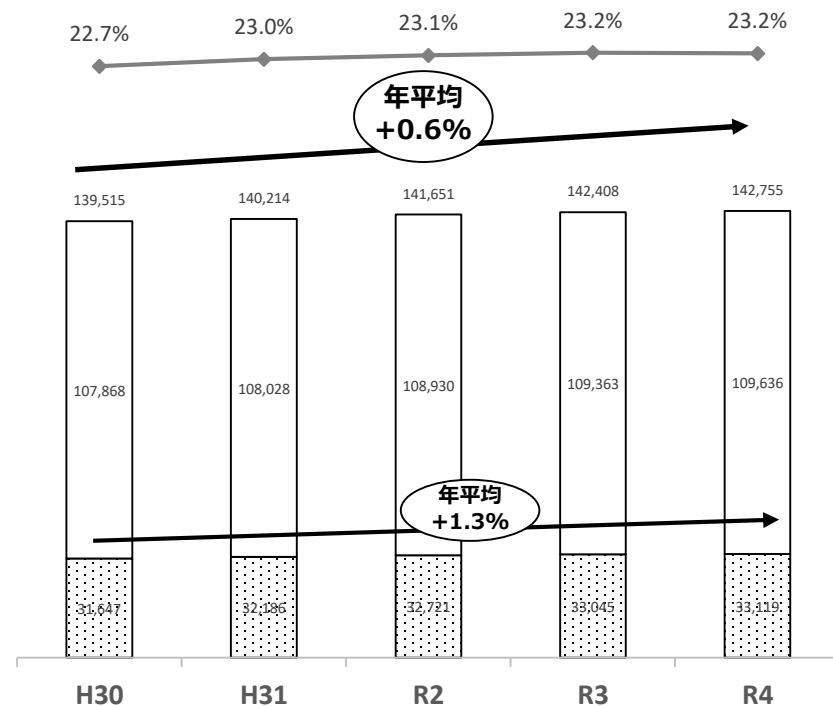
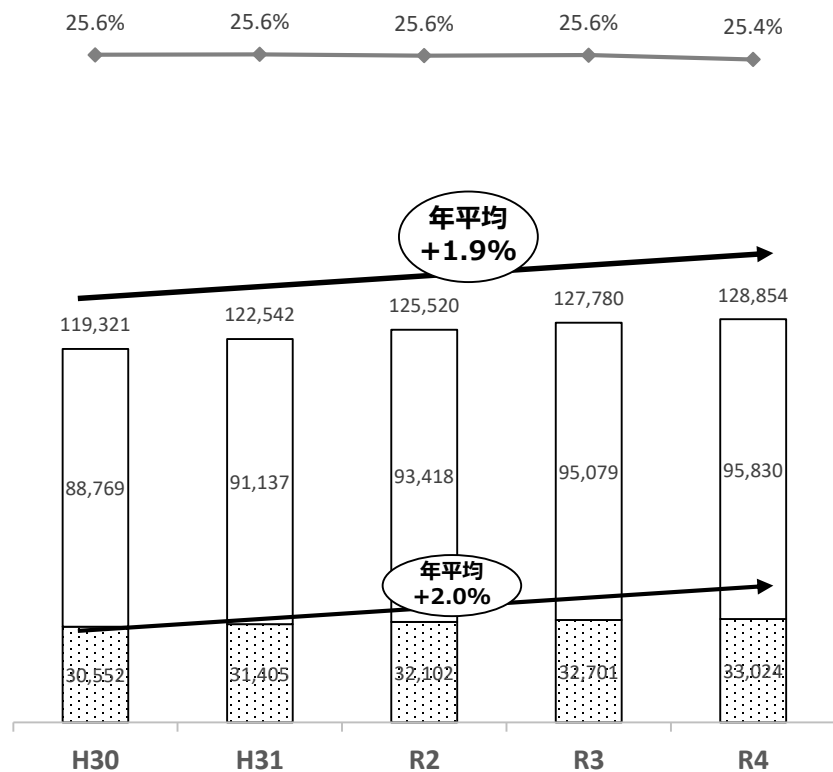
- 北部、中央エリアの人口は増加、南部、東部エリアは横ばいで推移している。
- 北部エリアを除き、高齢化率は上昇している。

北部エリア

中央エリア

□ 0～64歳 ■ 65歳以上 ◆ 高齢化率

（単位：人）



柏市の人口推移と高齢化率（エリア別）（2/2）

（前ページの続き）

南部エリア

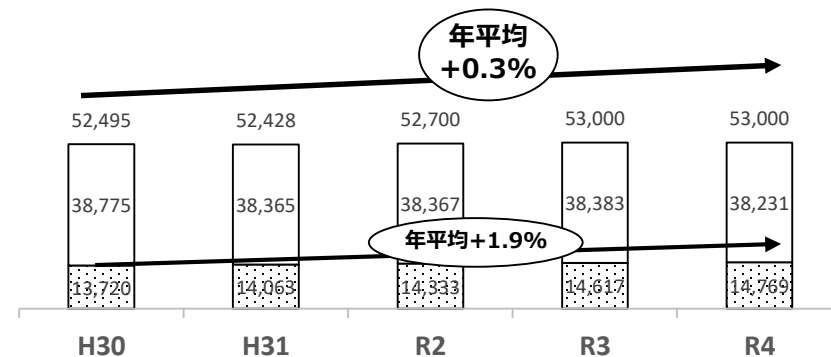
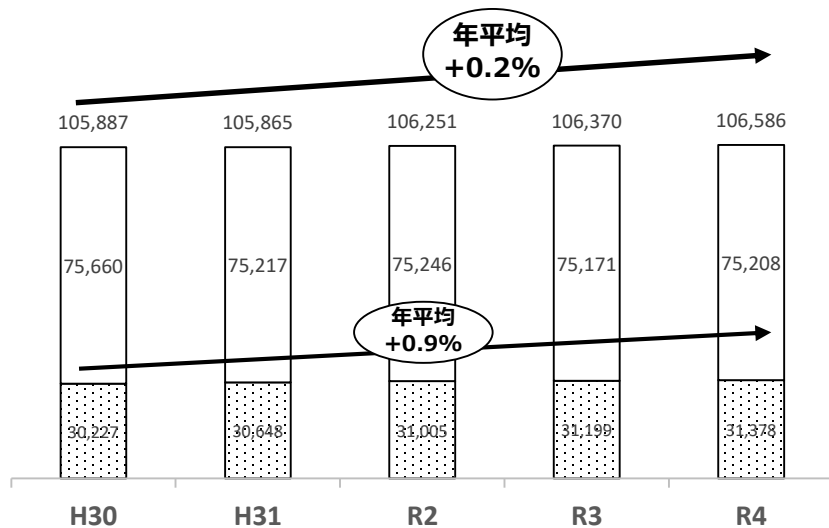
東部エリア

□ 0～64歳 ■ 65歳以上 ◆ 高齢化率

（単位：人）

28.5% 29.0% 29.2% 29.3% 29.4%

26.1% 26.8% 27.2% 27.6% 27.9%

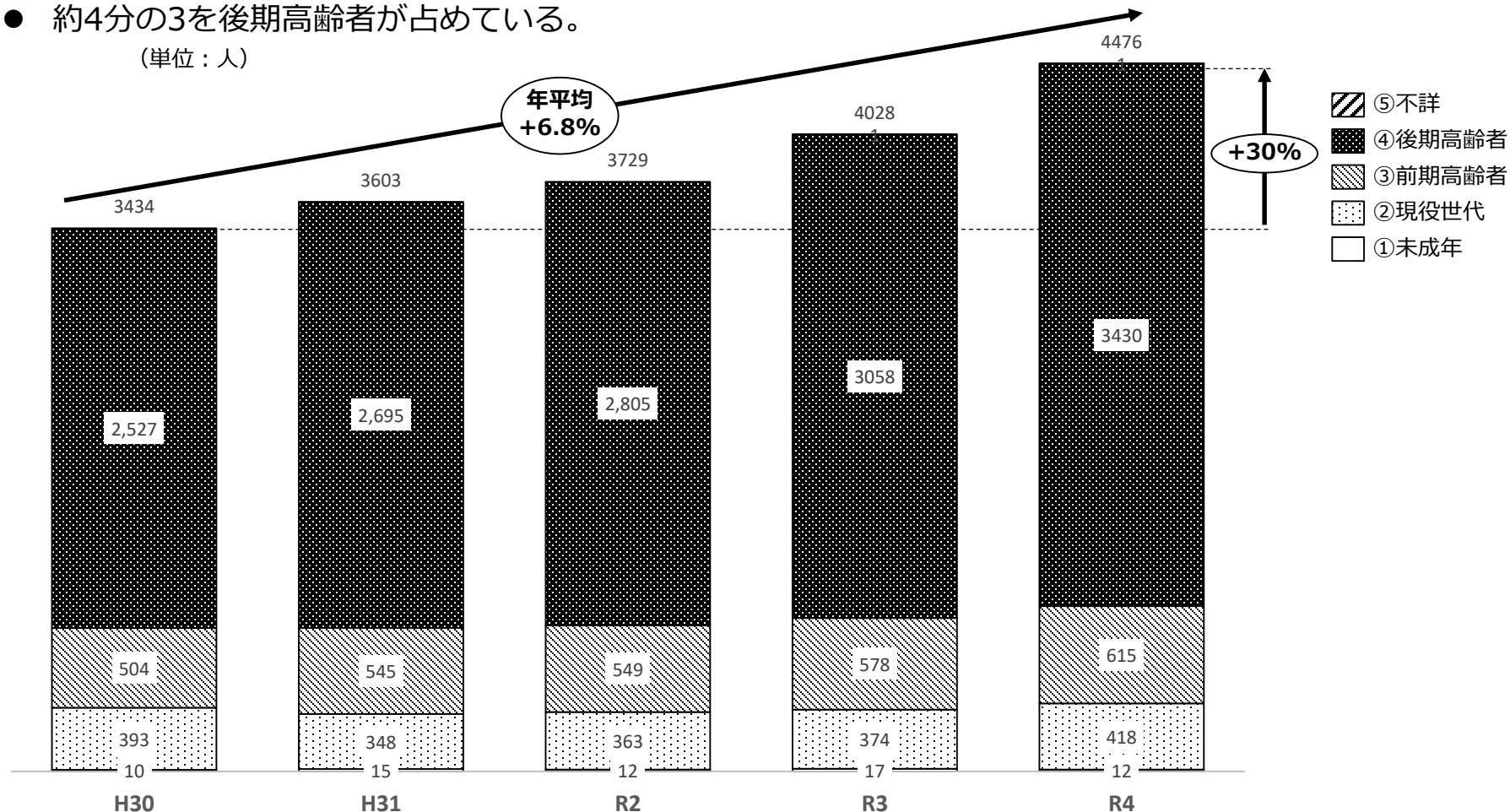


全死亡者の推移

死亡者数の推移

- 死亡者数は増加傾向にあり、年平均6.8%増加。平成30年から比較すると約30%増加している。
- 令和4年は前年から11%の増加となっており、現役世代、後期高齢者の増加が大きい。
- 約4分の3を後期高齢者が占めている。

(単位：人)



*年齢区分は以下のように定義した。「①未成年：20歳未満」「②現役世代：20歳以上～65歳未満」、「③前期高齢者：65歳以上～75歳未満」、「④後期高齢者：75歳以上」

死亡場所別の死亡者数の推移

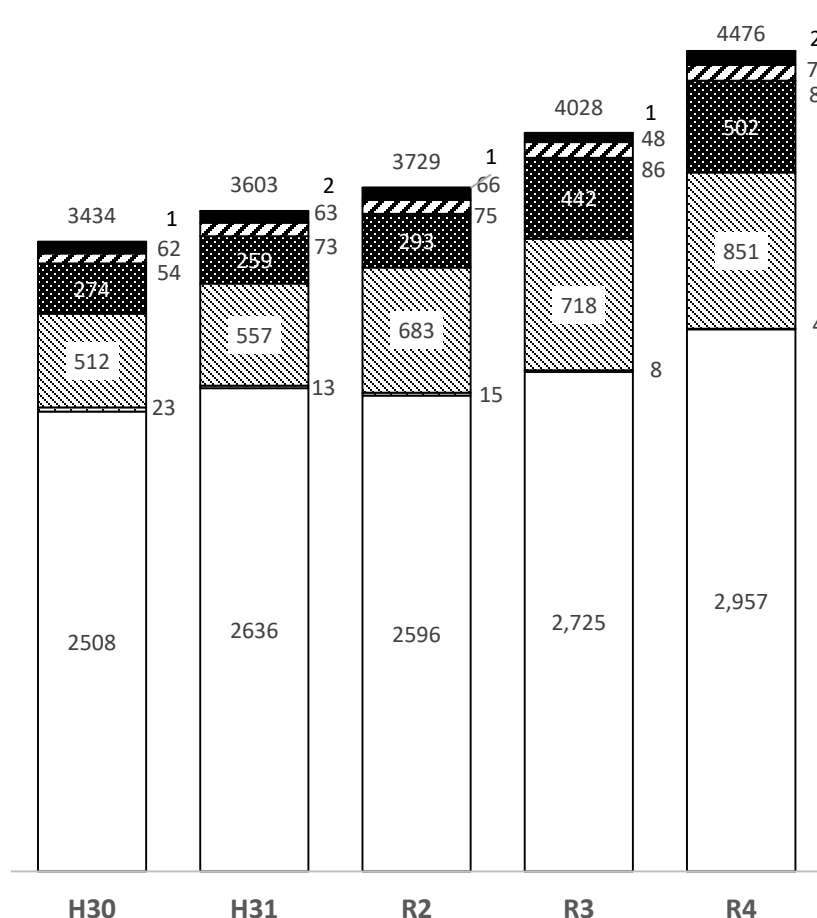
- 全死亡者の死亡別の割合は、病院は減少する一方で自宅と老人ホームが増加傾向にある。
- 令和4年では、病院以外の中で自宅での割合が増加している。

実数

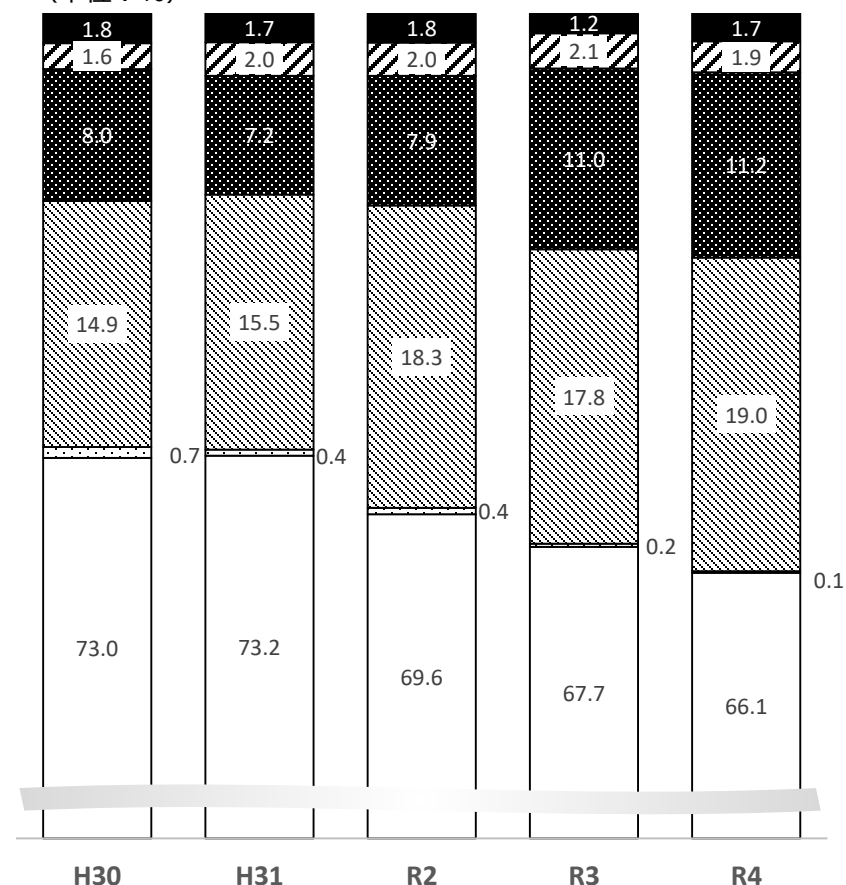
割合

(単位：人)

□ ①病院 ▨ ②診療所 ▩ ③自宅 ▤ ④老人ホーム ▧ ⑤介護老人保健施設 ■ ⑥その他 □ ⑦不詳



(単位：%)



*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

死亡診断書・死体検案書の発行数の内訳

- 死亡診断書とは…

医師が“診察または診療した患者”について発行する「死亡の事実を証明する書類」で、死亡の届け出をする場合には、添付書類として必ず提出しなくてはならない。

- 死体検案書とは…

医師が“生前から診療していない人”の死に対して、検案した一定の事実によって、その人の死亡を証明する文書のこと。死亡診断書が発行されない死亡にはすべて死体検案書が発行される。

（ともに小学館日本大百科全書より引用、一部改変）

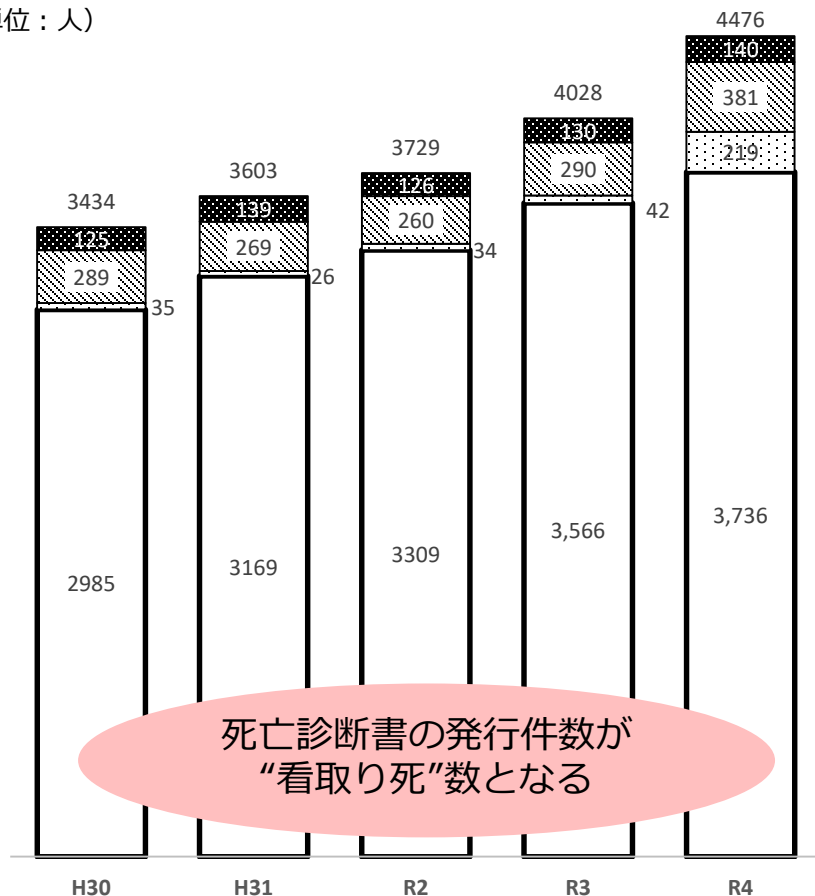
死亡診断書（死体検案書）発行数の推移

- 全死亡における死亡診断書発行数は前年より伸びているが、割合は5.0%減少した。
- 非監察医による死体検案書発行数が前年の5.2倍、割合で4.9倍となった。

実数

①死亡診断書発行
 ②死体検案書発行（病死・自然死、非監察医による発行と推定）

(単位：人)

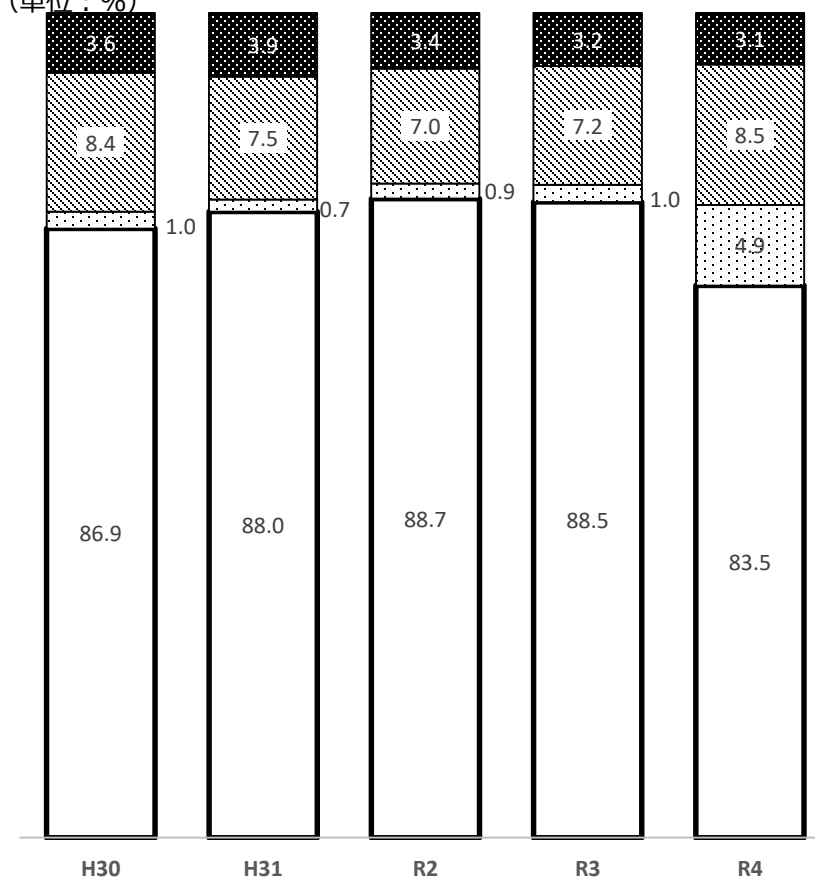


死亡診断書の発行件数が
“看取り死”数となる

割合

①死亡診断書発行
 ③死体検案書発行（病死・自然死、監察医による発行）
 ④死体検案書発行（病死・自然死以外）

(単位：%)



*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

自宅死亡者の死亡診断書（死体検案書）発行数の推移

- 自宅での死亡者における“看取り死（①死亡診断書発行）”の数と割合は増加傾向にある。

実数

割合

□ ①死亡診断書発行

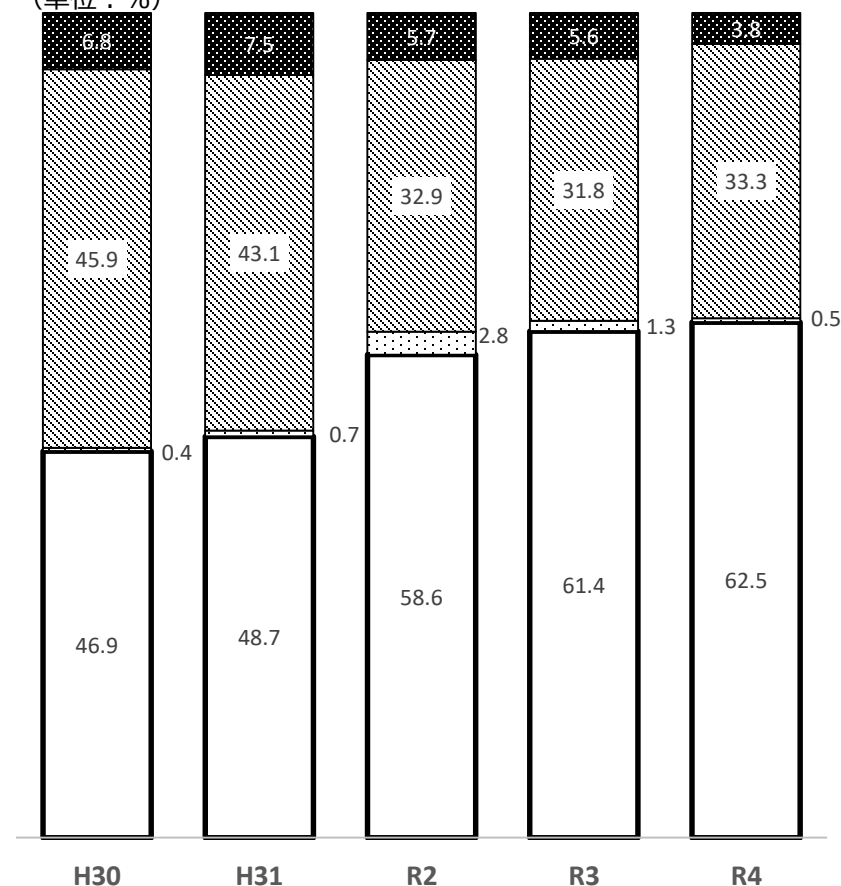
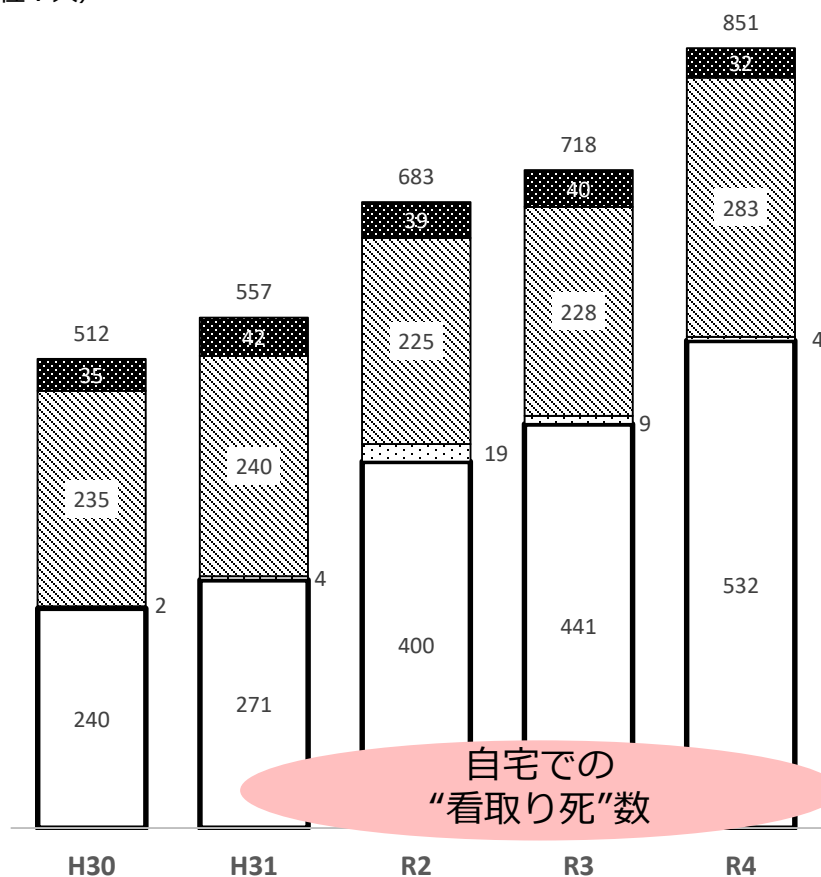
▨ ②死体検案書発行（病死・自然死、非監察医による発行と推定）

▨ ③死体検案書発行（病死・自然死、監察医による発行）

■ ④死体検案書発行（病死・自然死以外）

(単位：人)

(単位：%)



*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

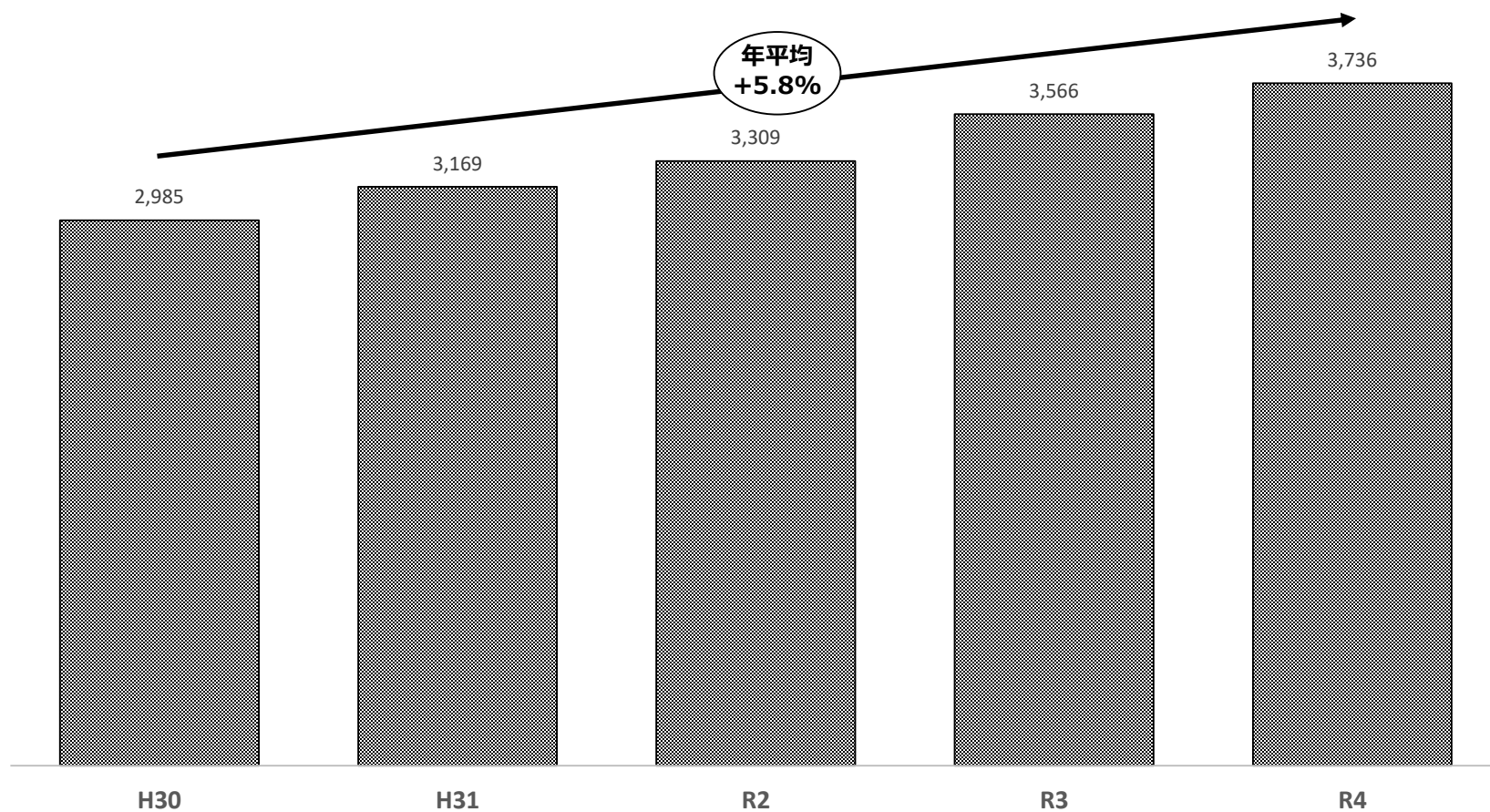
“看取り死”の推移

(以降の分析は、“看取り死を母集団”とする)

“看取り死”数の推移

- “看取り死”数は増加傾向にあり、年平均5.8%で増加している。

(単位：人)



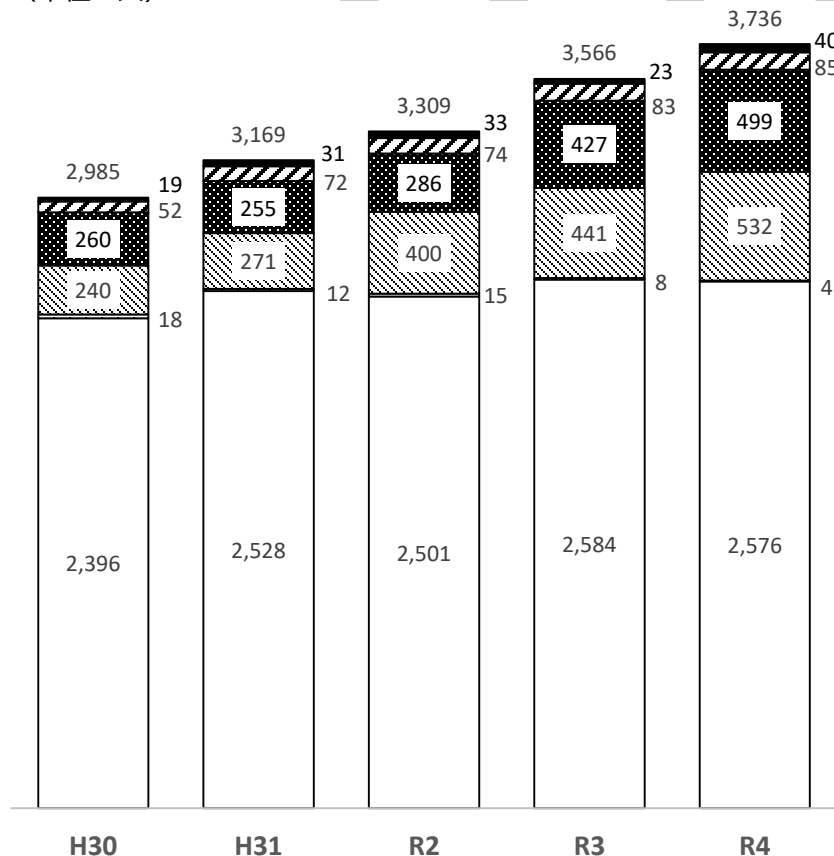
死亡場所別の“看取り死”数の推移

- 令和4年は病院の看取り割合は3.5ポイント減少し、自宅の看取り割合は1.8ポイント増加した。
- 老人ホームでの“看取り死”数は増加傾向にあり、平成30年と比較して約1.9倍に増加した。

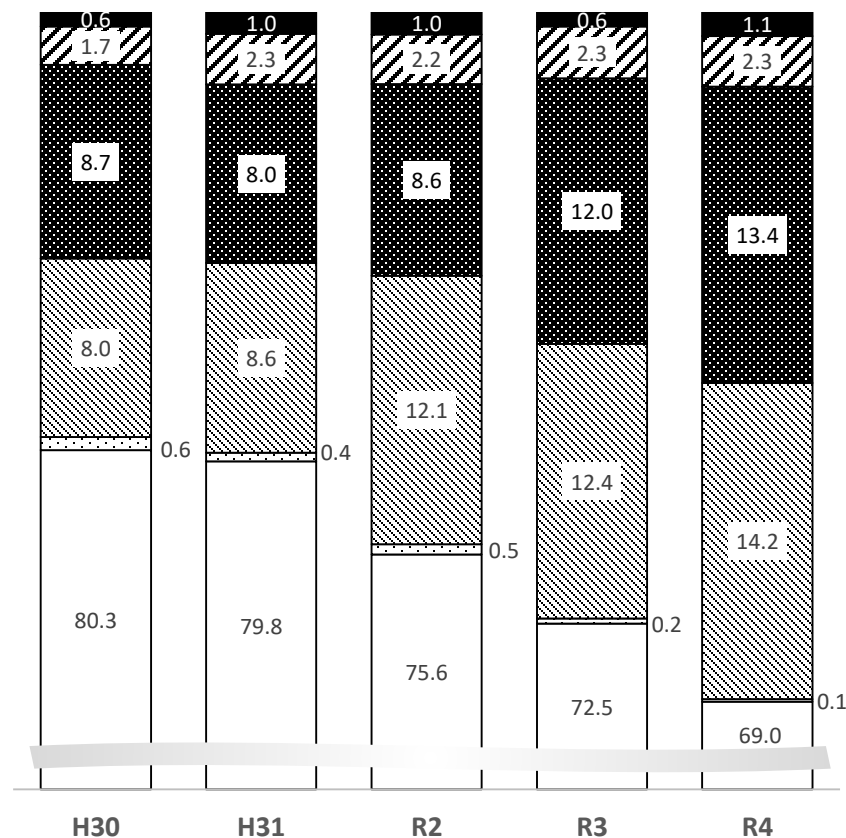
実数

(単位：人)

①病院 ②診療所 ③自宅 ④老人ホーム ⑤介護老人保健施設 ⑥その他



割合



*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

居住エリアごとの死亡場所別の“看取り死”数の推移（1/4） 北部エリア

- どのエリアも“看取り死”は増加傾向であり，R4年の自宅看取り件数はすべてのエリアで増加

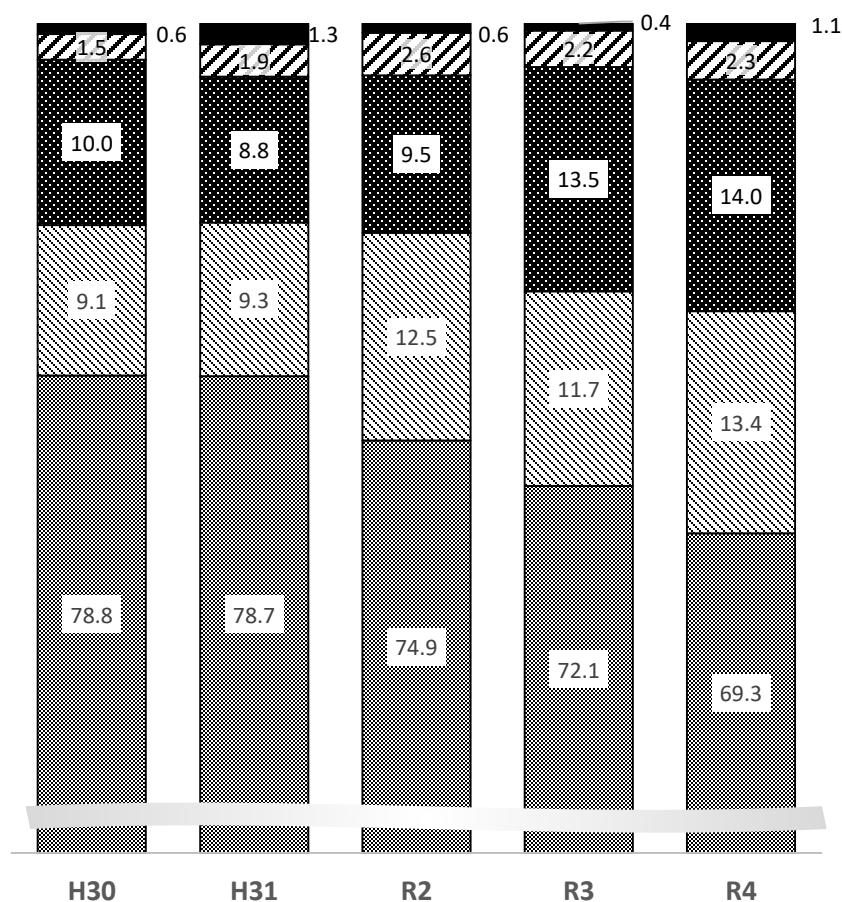
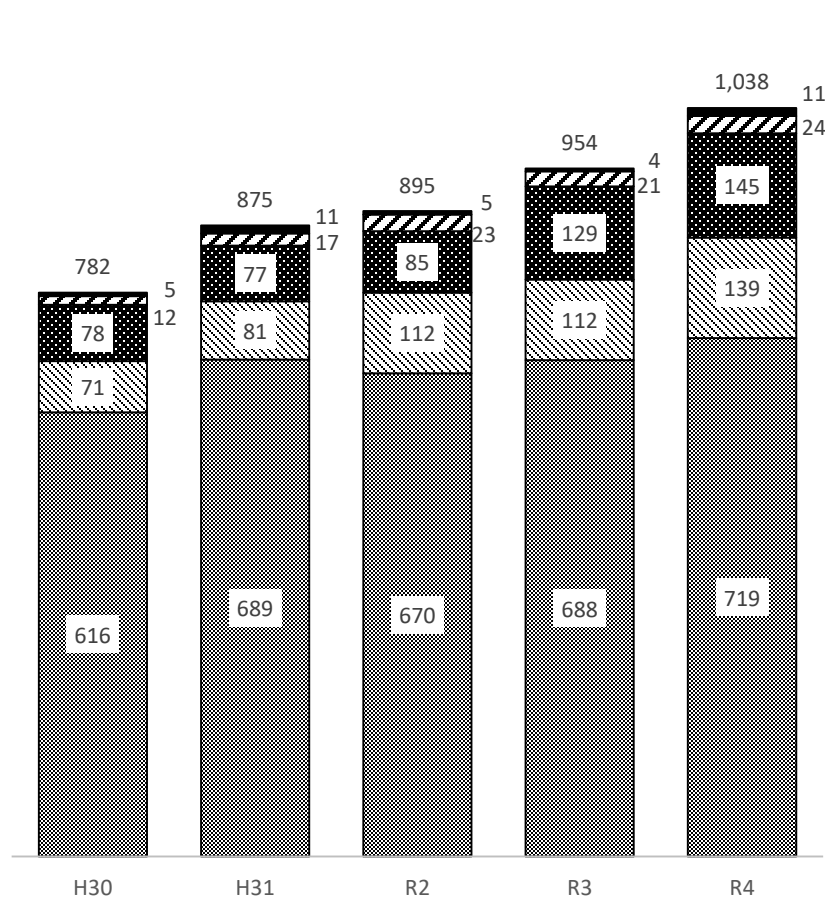
実数

（単位：人）

医療機関 自宅 老人ホーム 介護老人保健施設 その他

（単位：%）

割合



居住エリアごとの死亡場所別の“看取り死”数の推移（2/4） 中央エリア

（前のページの続き）

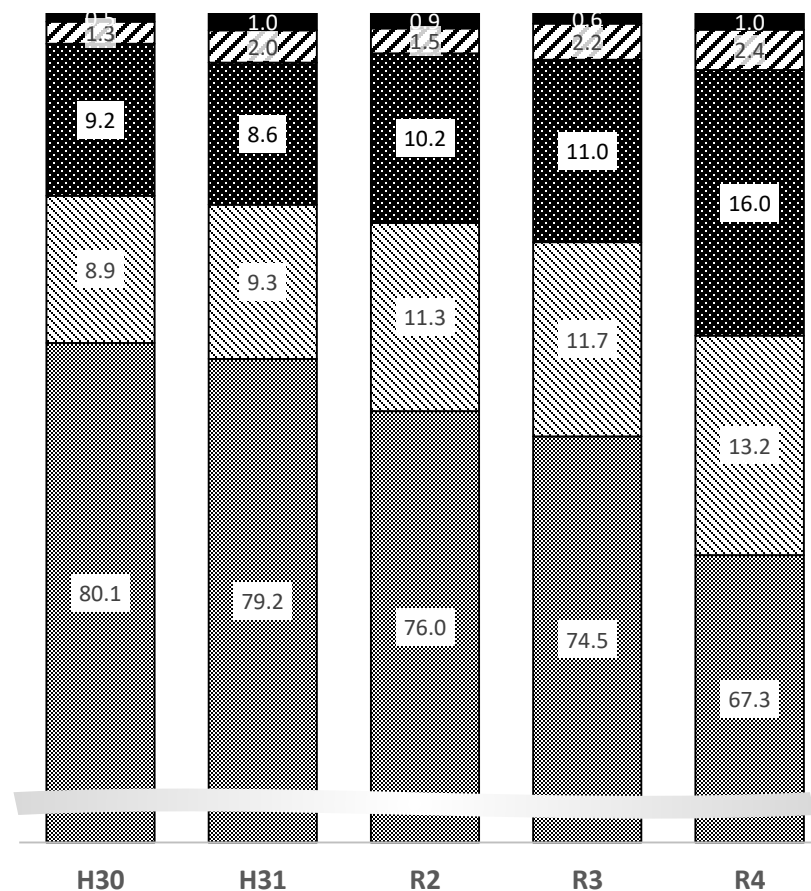
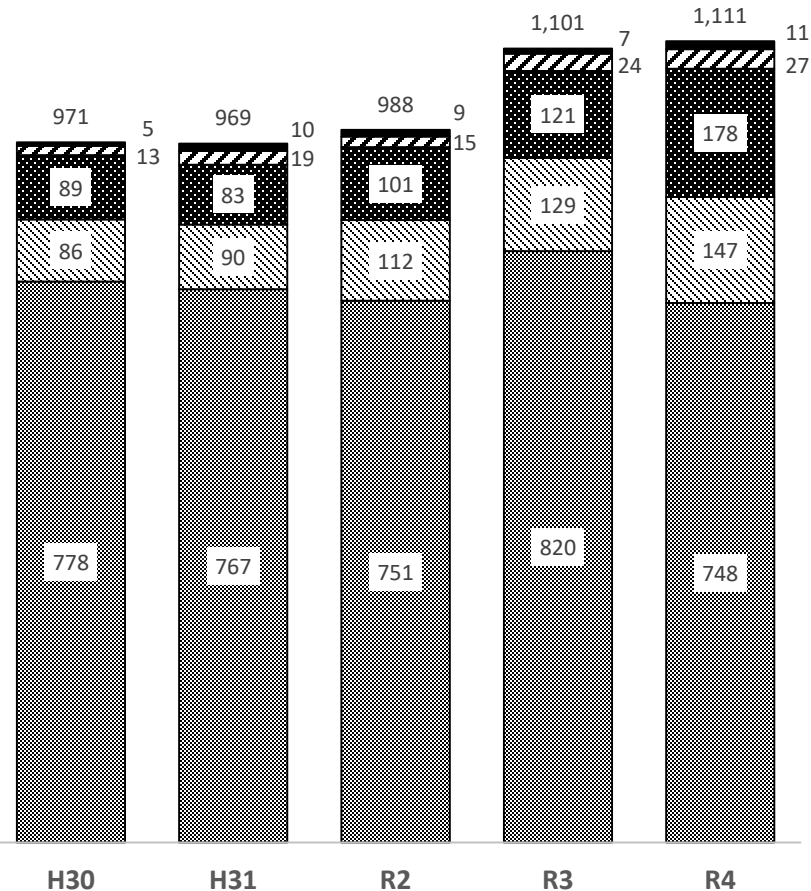
実数

割合

（単位：人）

医療機関 自宅 老人ホーム 介護老人保健施設 その他

（単位：%）



居住エリアごとの死亡場所別の“看取り死”数の推移（3/4） 南部エリア

（前のページの続き）

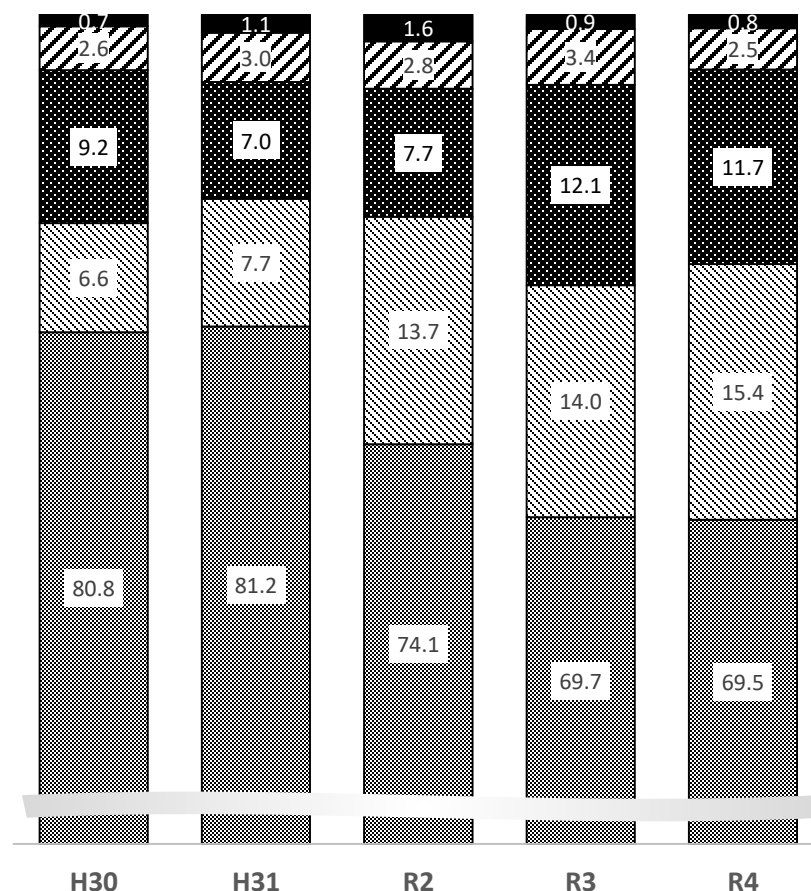
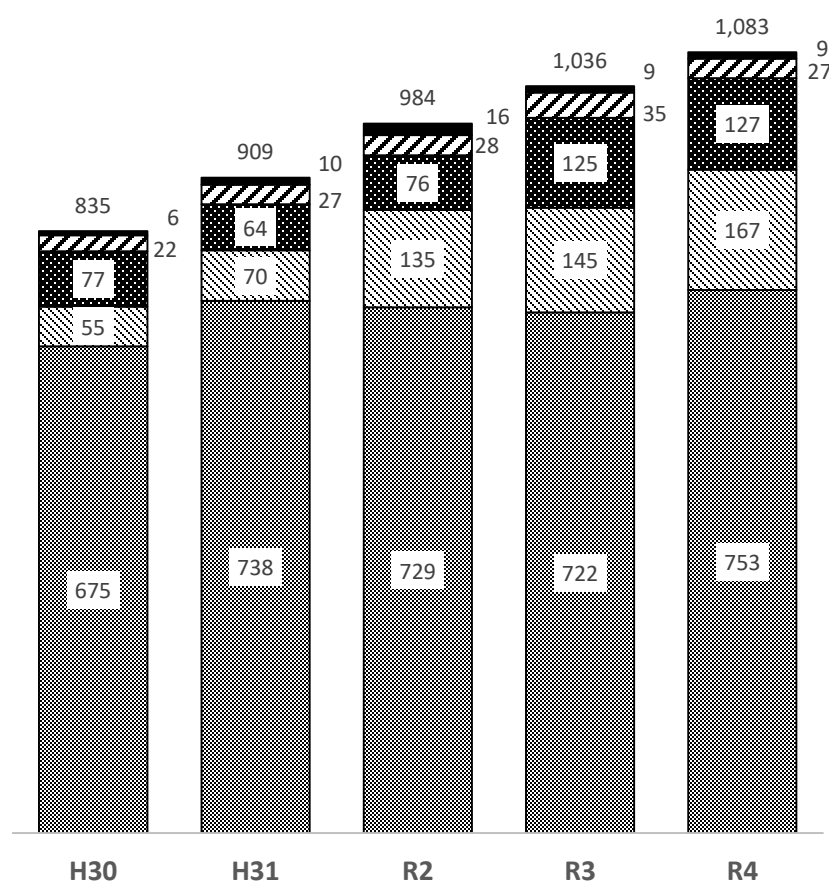
実数

割合

（単位：人）

（単位：%）

医療機関 自宅 老人ホーム 介護老人保健施設 その他



居住エリアごとの死亡場所別の“看取り死”数の推移（4/4） 東部エリア

（前のページの続き）

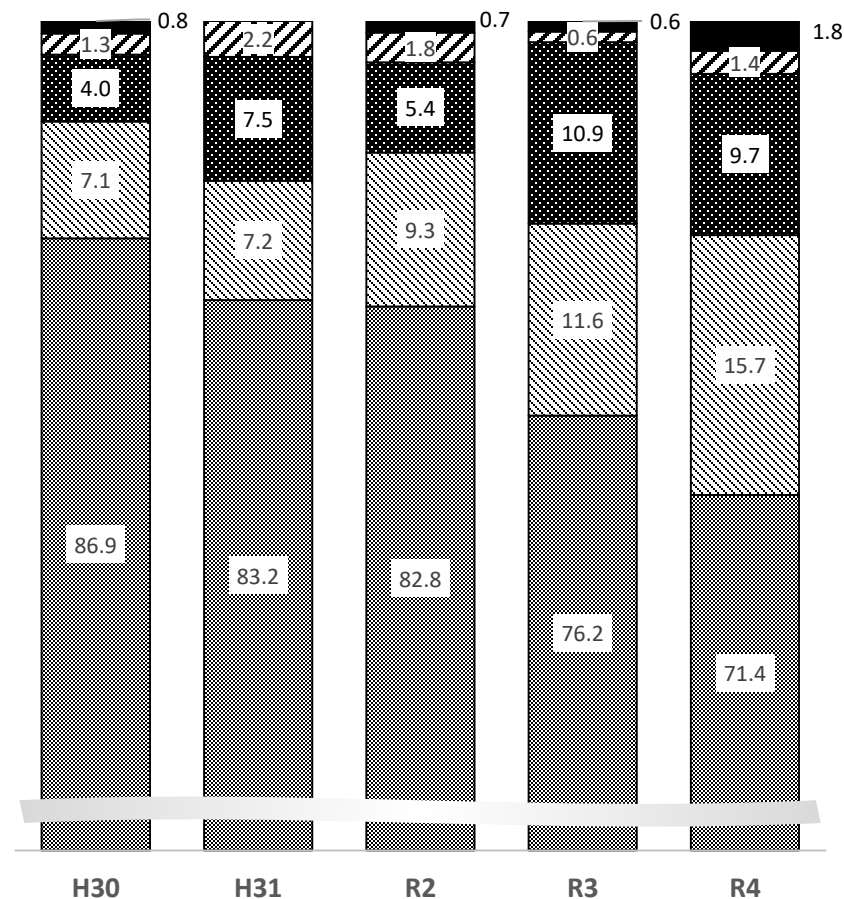
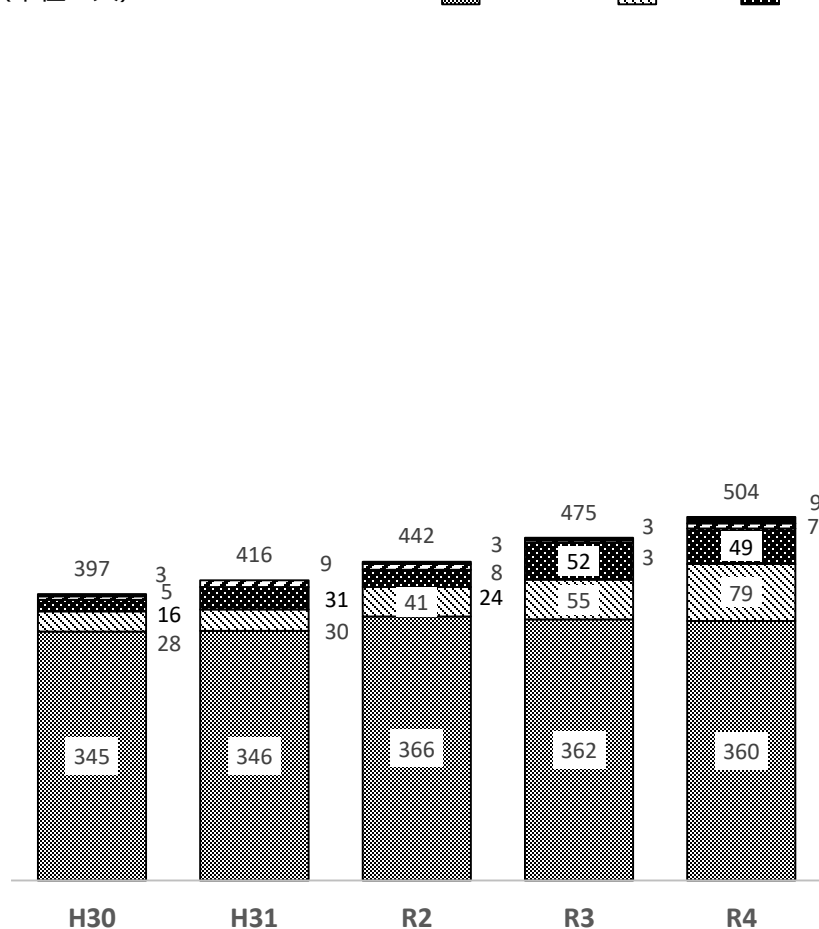
実数

割合

（単位：人）

医療機関 自宅 老人ホーム 介護老人保健施設 その他

（単位：%）



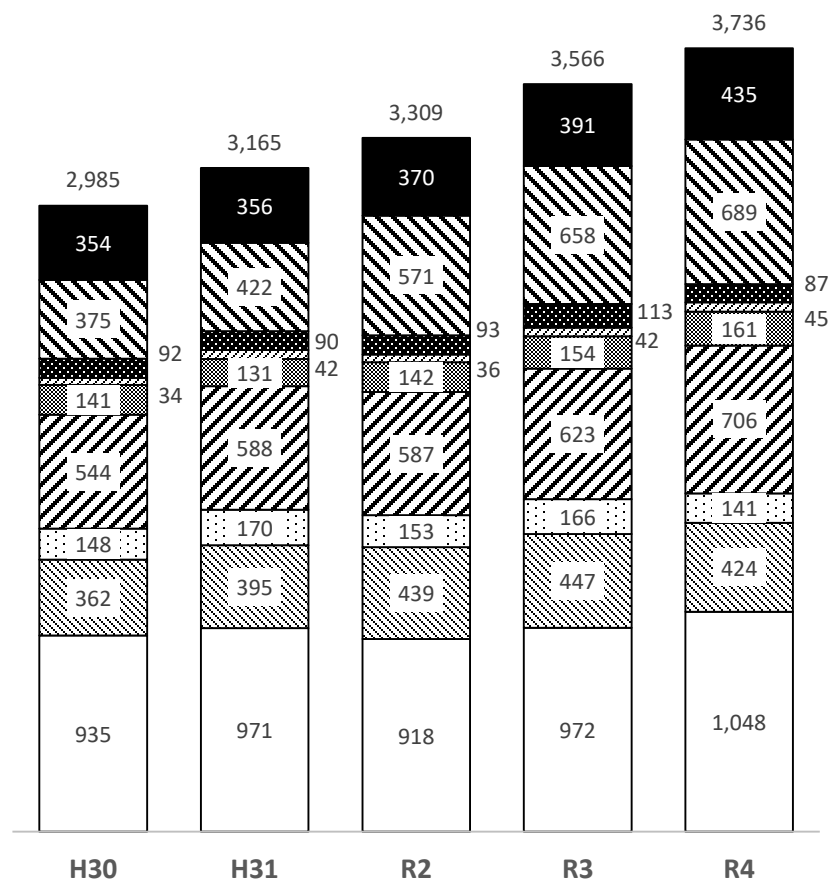
“看取り死”した方の死因の推移

- 5年間の“看取り死”における死因の割合は、老衰が増加、悪性新生物（がん）、脳血管疾患が減少傾向である。
- 令和4年は肺炎が増加している。

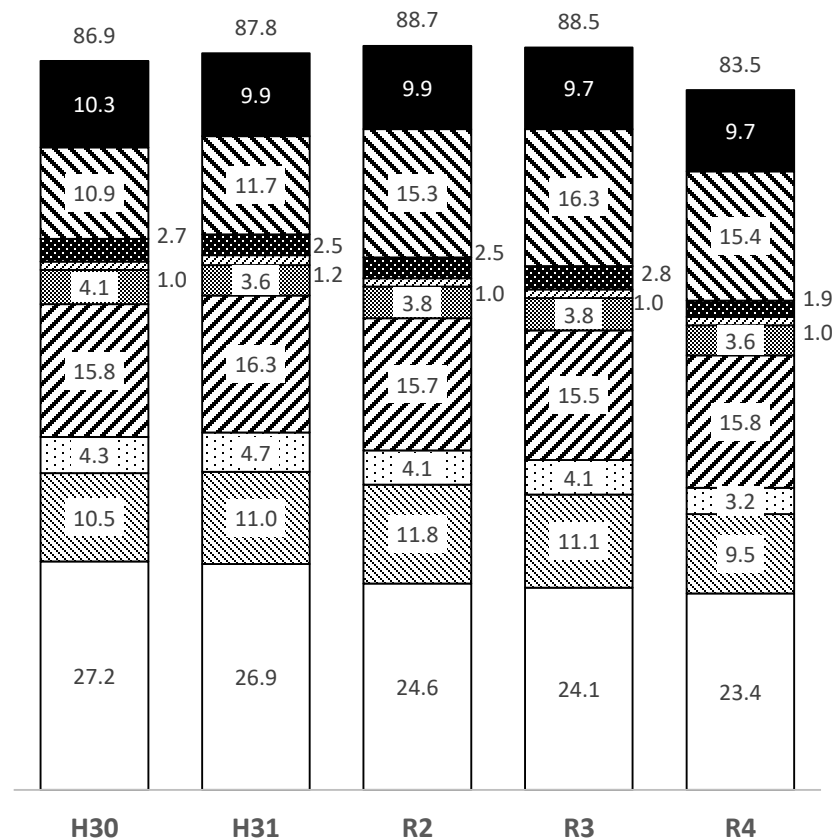
実数

(単位：人)

①悪性新生物 ②心疾患 ③脳血管疾患 ④肺炎 ⑤呼吸器疾患（肺炎と5類を除く） ⑥肝疾患 ⑦腎疾患 ⑧老衰（認知症を含む） ⑨その他の死因
 (単位：%)



柏市民の全死亡に対する割合



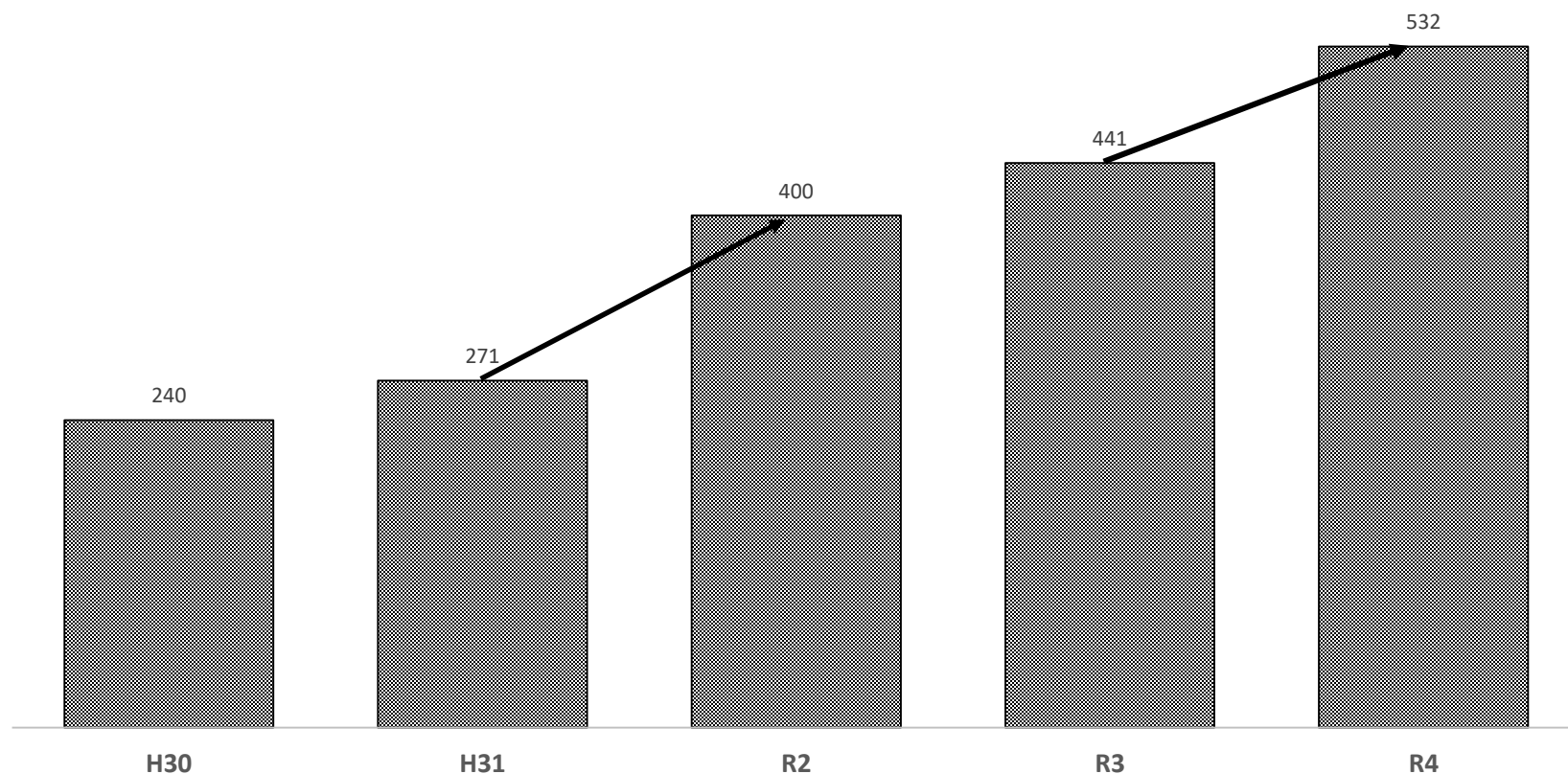
*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

自宅での“看取り死”の推移

自宅での看取り件数の推移

- 自宅での看取り件数は令和2年に急増し、令和4年にかけて増加している。

(単位：人)



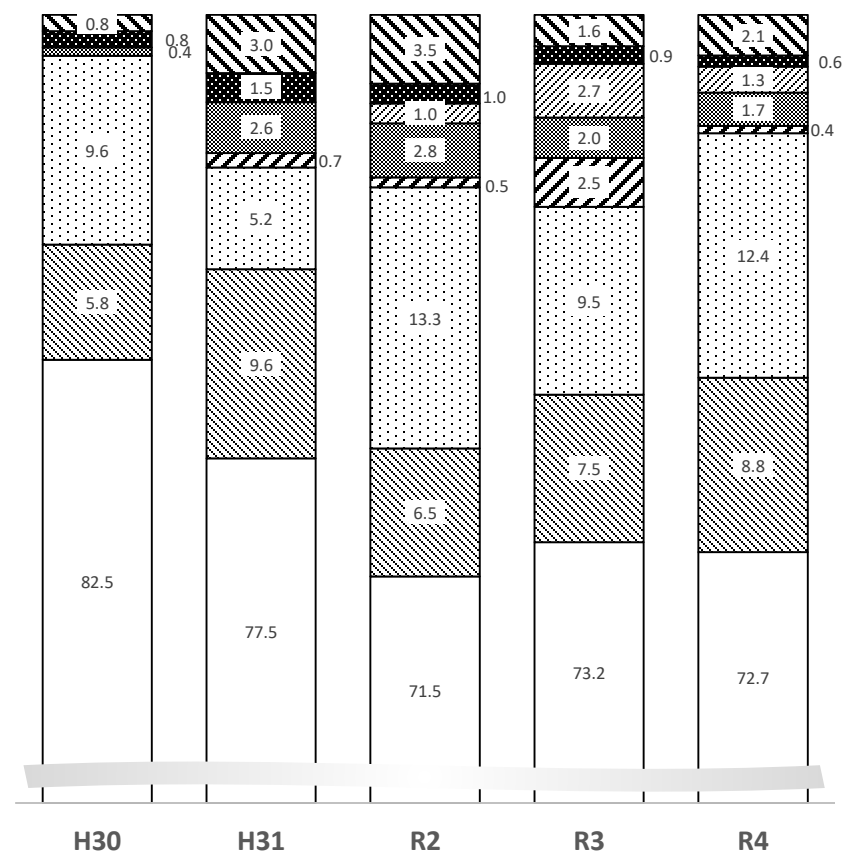
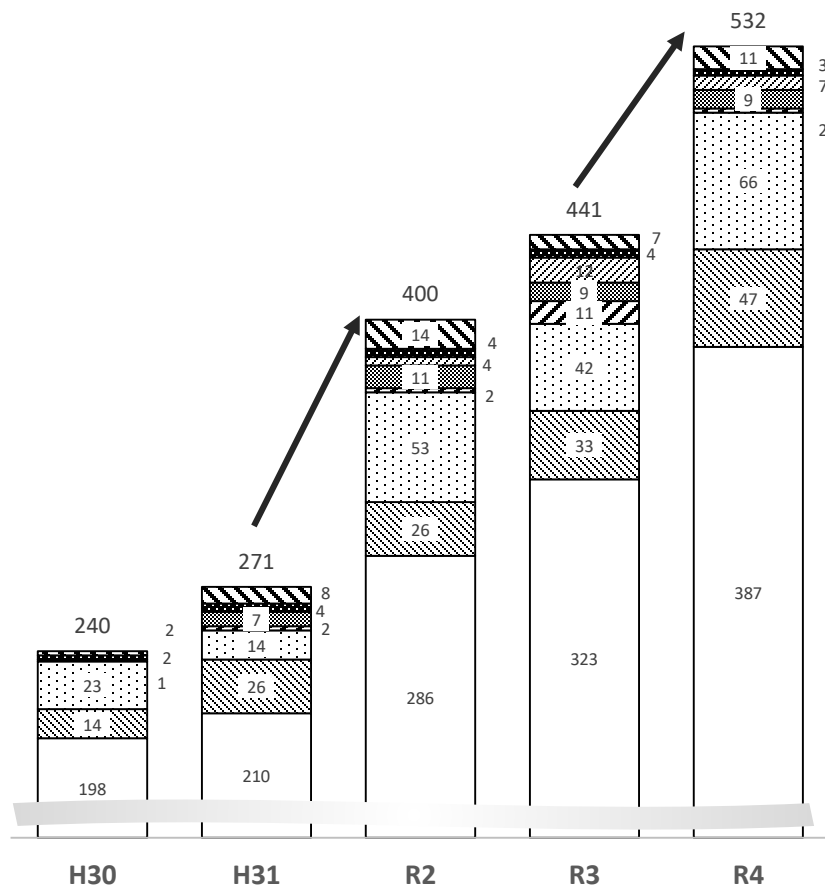
医療機関の立地別の自宅看取り件数の推移

- 令和3年から令和4年は、柏市・流山市の医療機関による看取り件数が増加した。
- 一方、柏市内医療機関による看取り割合は令和2年から横ばいである。

実数

割合

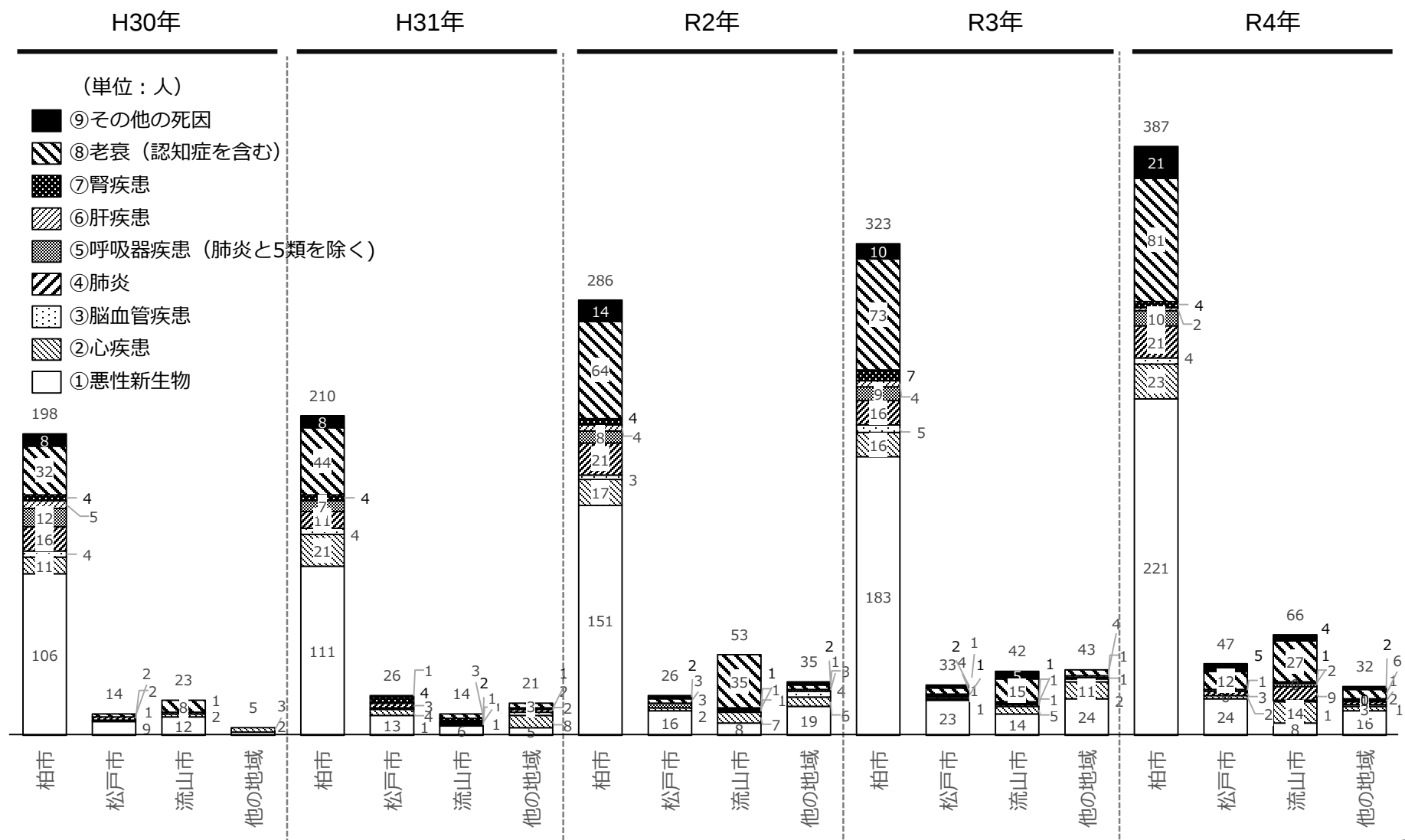
①柏市
 ②松戸市
 ③流山市
 ④我孫子市
 ⑤野田市
 ⑥鎌ヶ谷市
 ⑦その他の千葉県内自治体
 ⑧千葉県外



*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

死因別・医療機関の立地別の自宅看取り件数の推移

- 柏市内の医療機関による悪性新生物（がん）及び老衰の看取りの件数は増加傾向である。



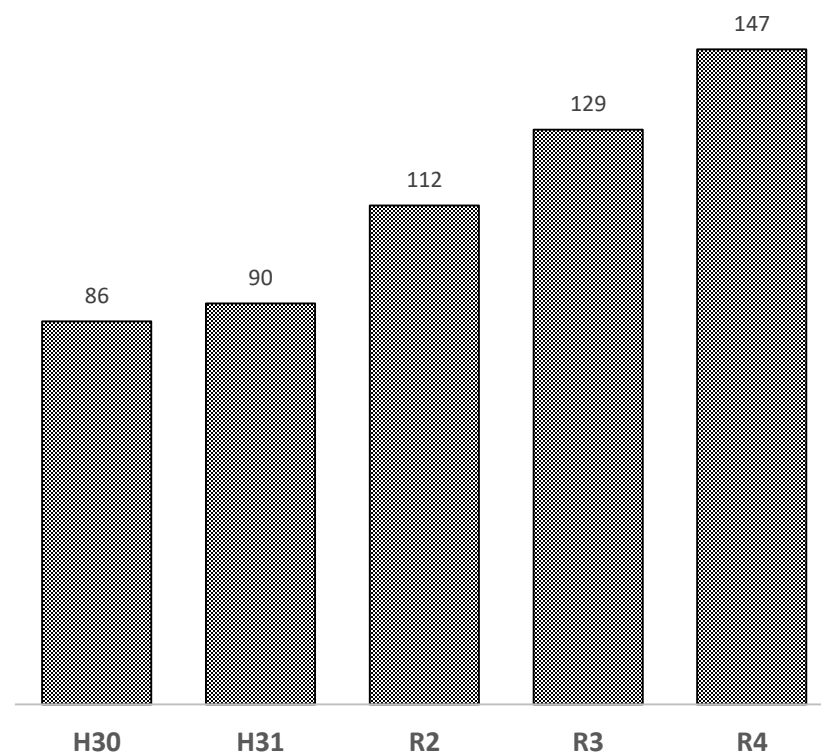
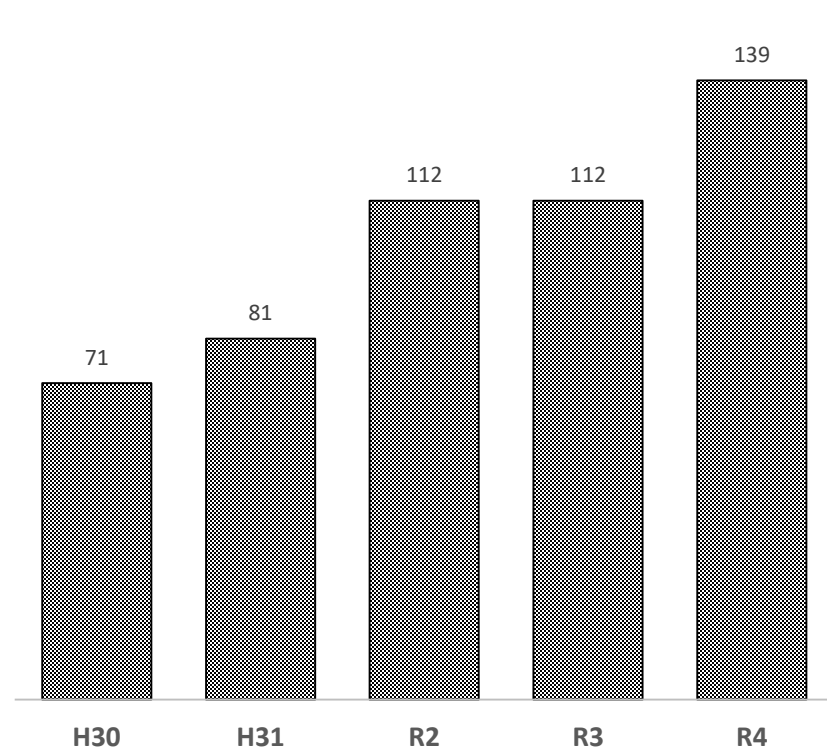
市内のエリア別の自宅“看取り死”数の推移（1/2）

- 全てのエリアにおいて、自宅“看取り死数”は増加している。

北部エリア

中央エリア

（単位：人）

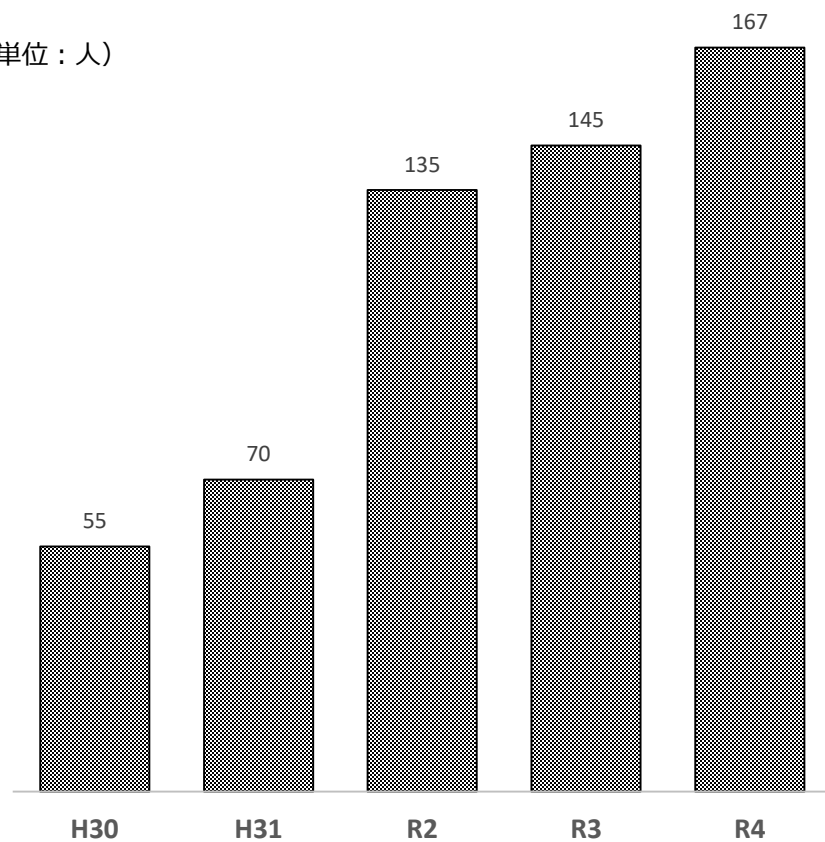


市内のエリア別の自宅“看取り死”数の推移（2/2）

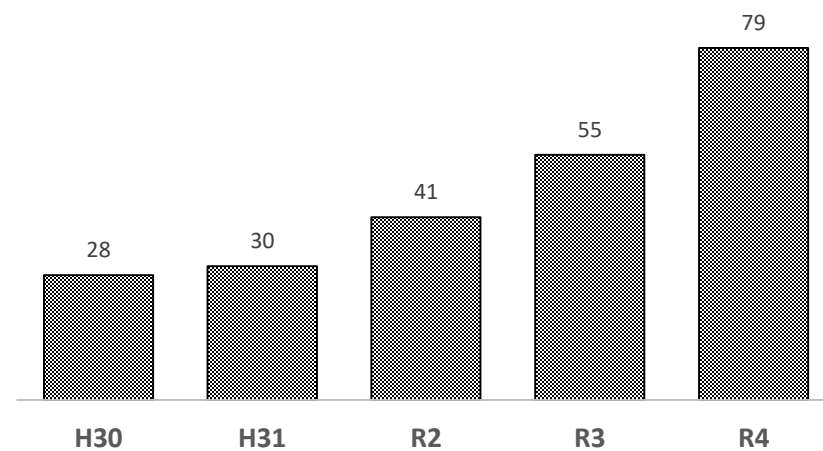
（前ページの続き）

南部エリア

（単位：人）



東部エリア

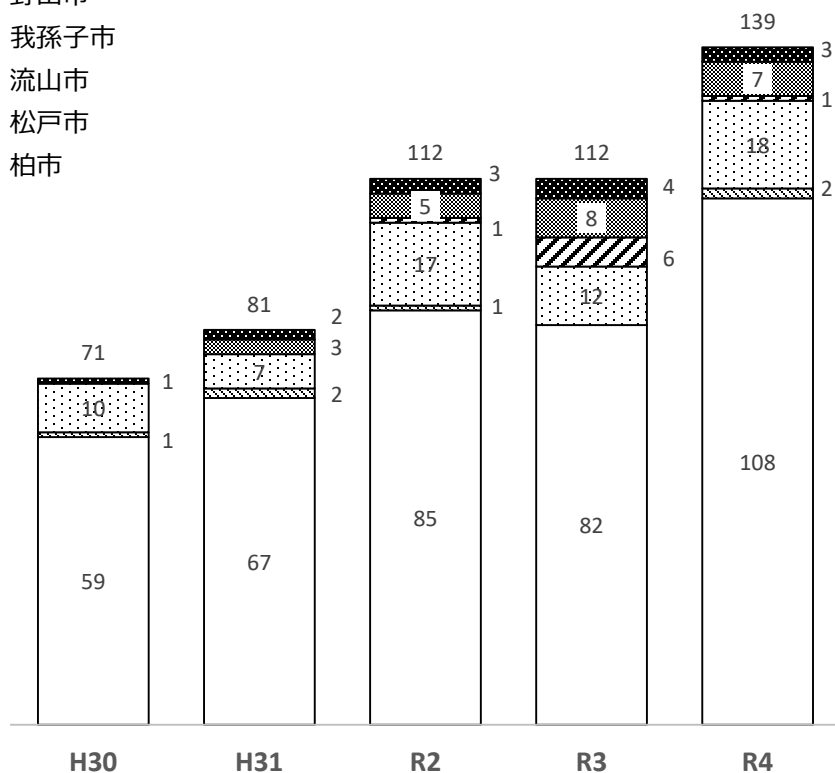


市内居住エリアと看取った医療機関所在地のクロス分析（1/4） 北部エリア

- 柏市内の医療機関での看取り件数は、全てのエリアにおいて増加している。
- 柏市内の医療機関での看取り割合は、北部，中央，南部エリアにおいて増加している。
また、近隣市では、北部，東部エリアにおいて流山市医療機関が増加している。

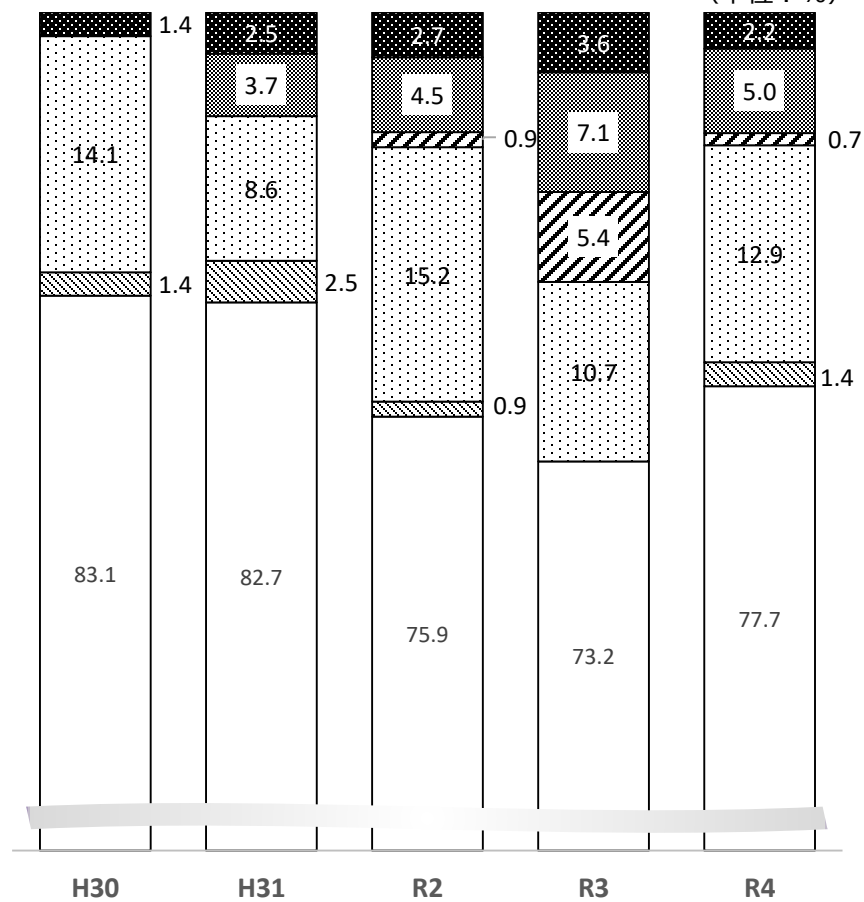
実数

(単位：人)



割合

(単位：%)



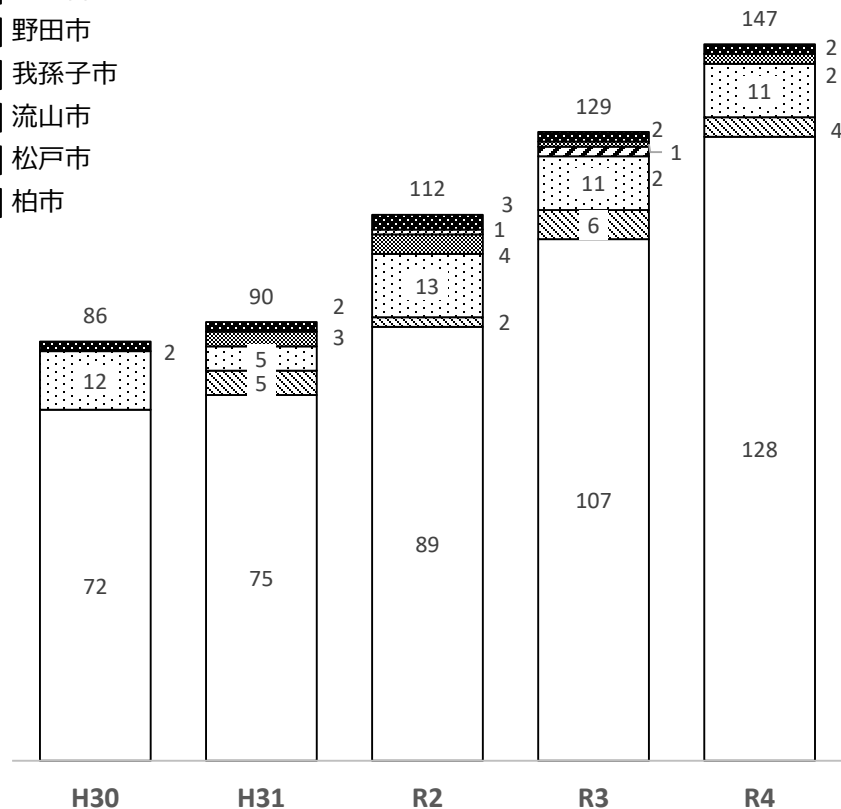
市内居住エリアと看取った医療機関所在地のクロス分析（2/4） 中央エリア

（前のページの続き）

実数

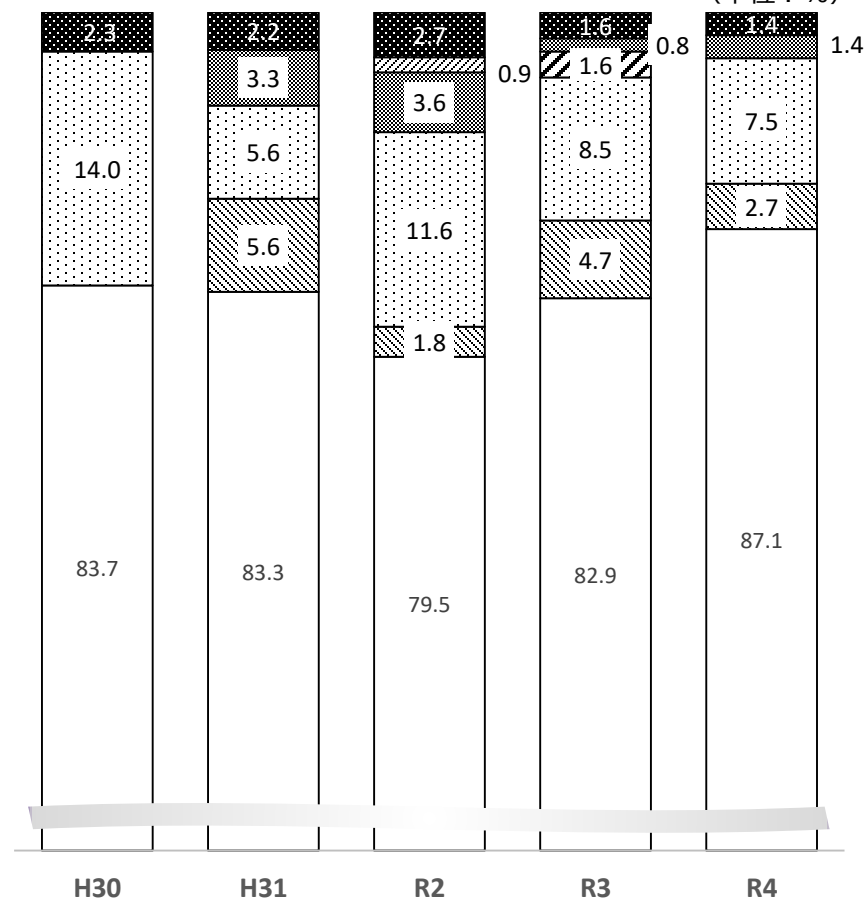
（単位：人）

- その他の地域
- ▨ 鎌ヶ谷市
- ▨ 野田市
- ▨ 我孫子市
- ▨ 流山市
- ▨ 松戸市
- 柏市



割合

（単位：％）



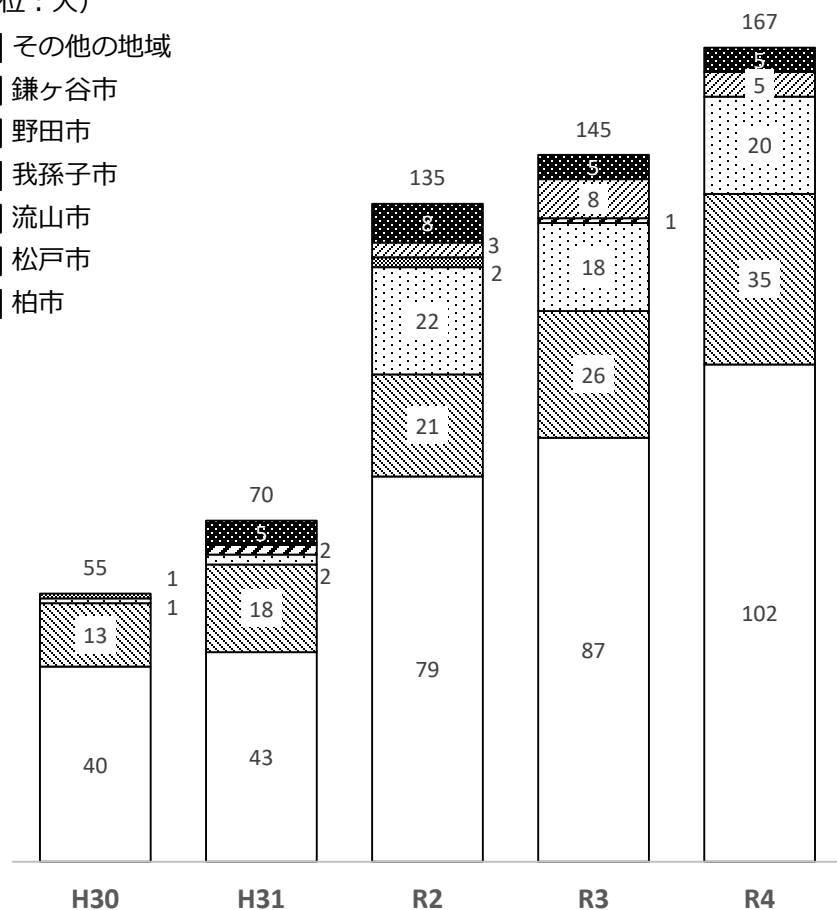
市内居住エリアと看取った医療機関所在地のクロス分析（3/4） 南部エリア

（前のページの続き）

実数

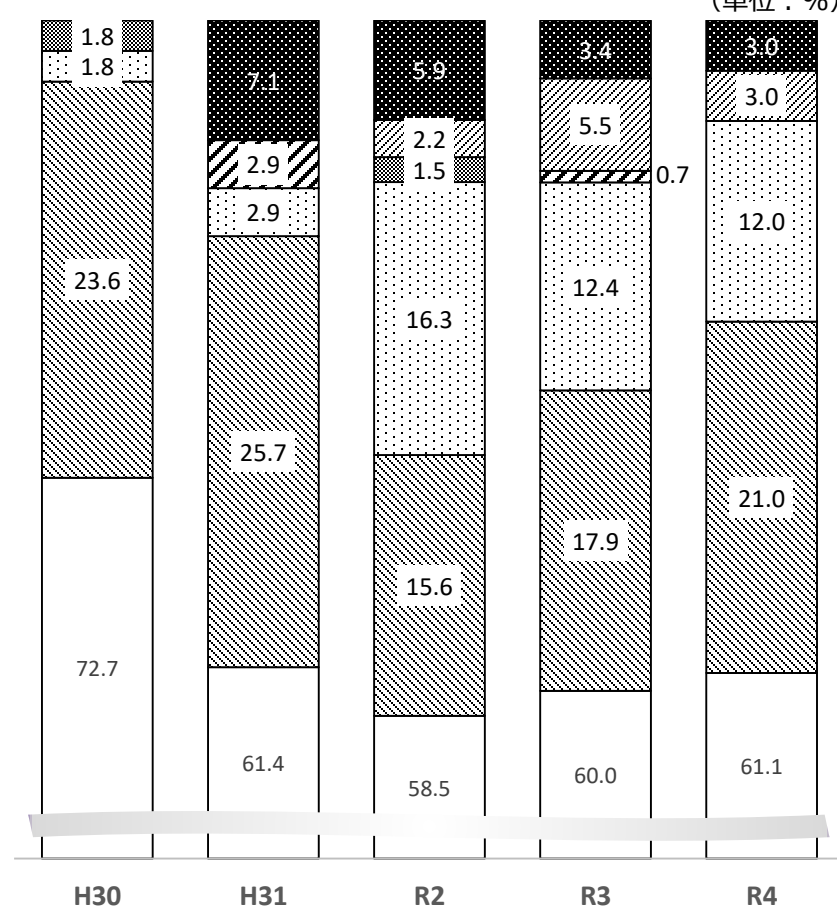
（単位：人）

- その他の地域
- ▨ 鎌ヶ谷市
- ▩ 野田市
- ▧ 我孫子市
- ▦ 流山市
- ▤ 松戸市
- 柏市



割合

（単位：％）

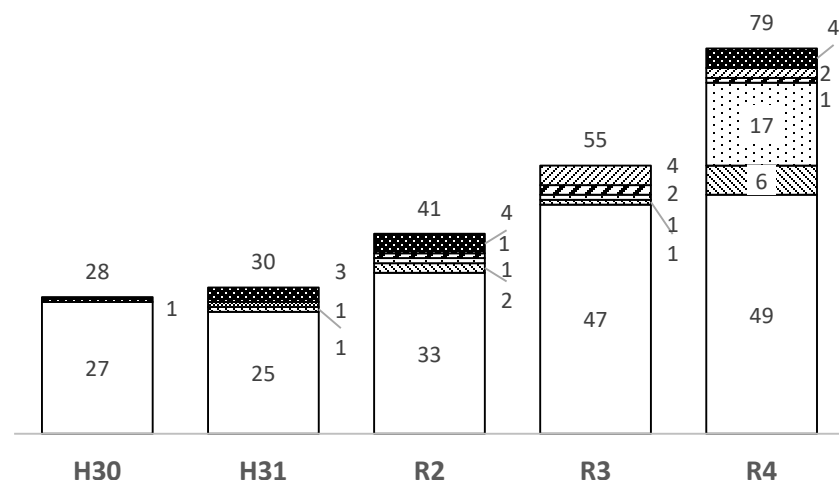


市内居住エリアと看取った医療機関所在地のクロス分析（4/4） 東部エリア

（前のページの続き）

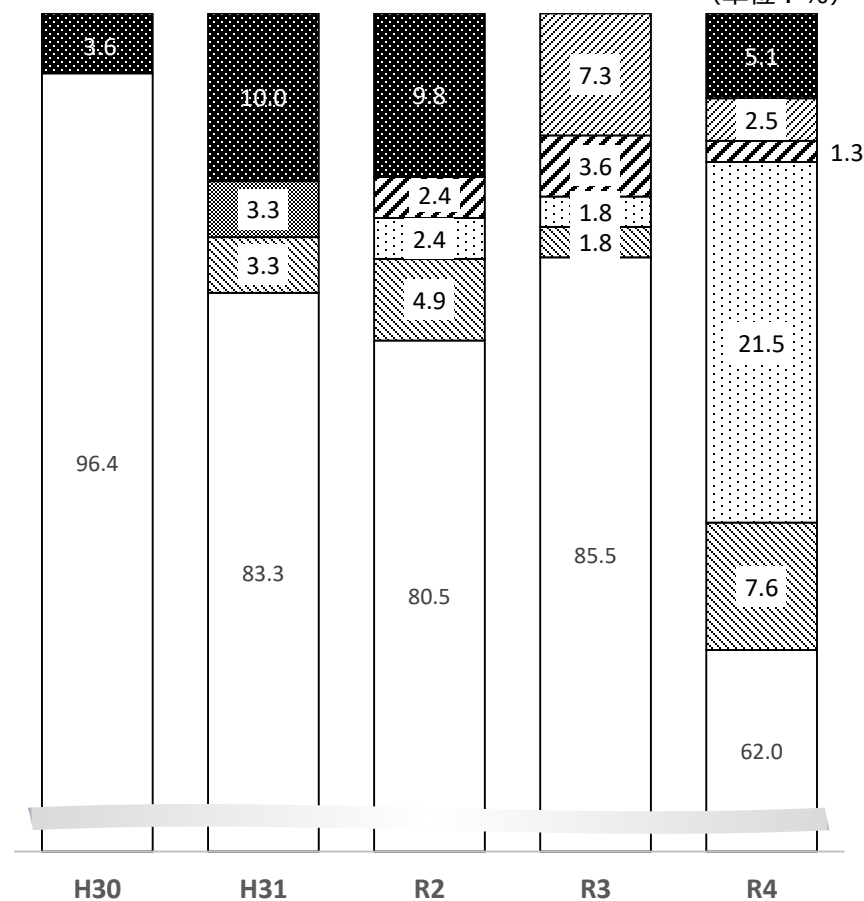
実数

（単位：人）



割合

（単位：％）



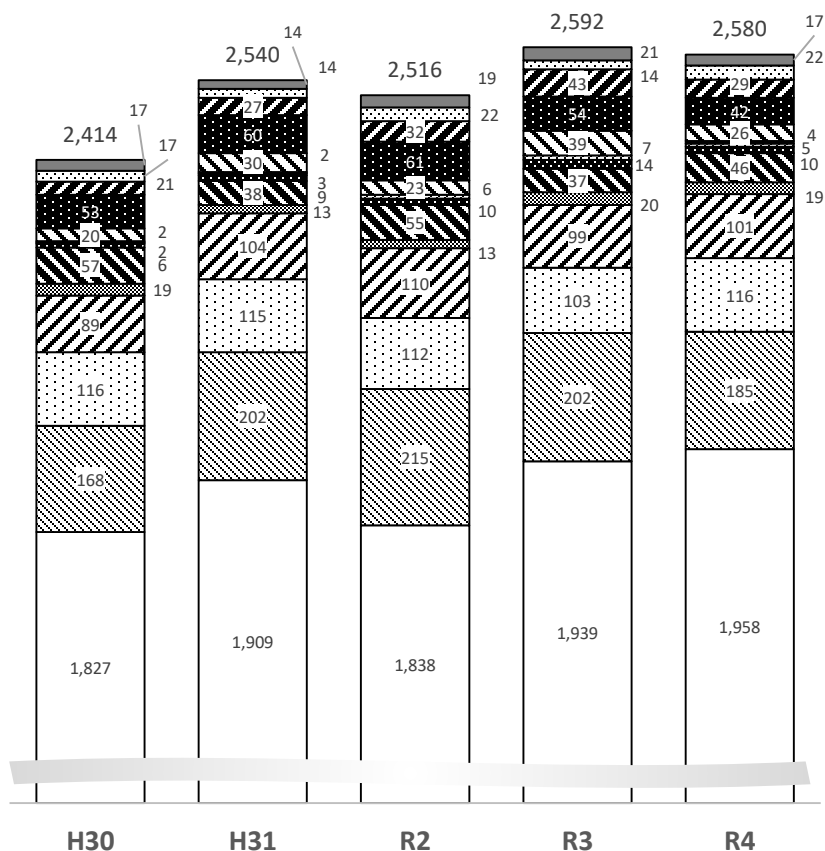
その他のデータ

医療機関の立地別の医療機関での看取り件数の推移

- 柏市内の医療機関による看取り件数及び割合はほとんど一定で推移している。
- 他市では、松戸市、流山市、我孫子市の割合が高い。

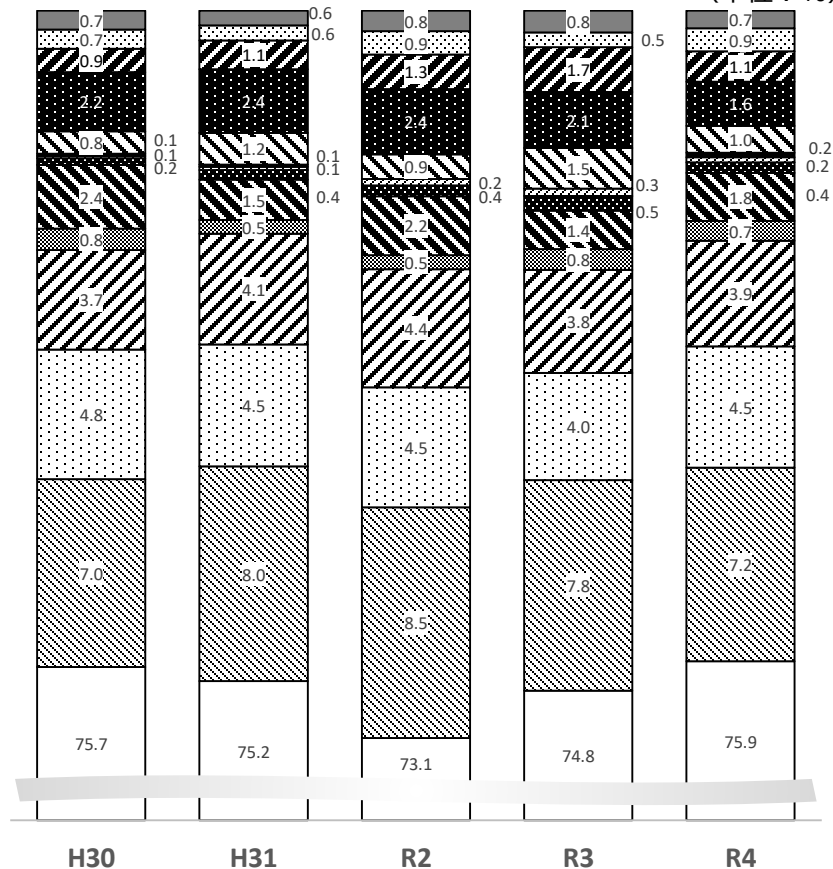
実数

(単位：人) □ ①柏市 ▨ ③流山市 ▩ ⑤野田市 ▩ ⑦白井市 ■ ⑨千葉市
 ▨ ②松戸市 ▨ ④我孫子市 ▨ ⑥鎌ヶ谷市 ▨ ⑧印西市 ▨ ⑩その他の千葉県内自治体



割合

(単位：%) ▨ ①柏市 ▨ ③流山市 ▨ ⑤野田市 ▨ ⑦白井市 ▨ ⑨千葉市
 ▨ ②松戸市 ▨ ④我孫子市 ▨ ⑥鎌ヶ谷市 ▨ ⑧印西市 ▨ ⑩その他の千葉県内自治体 ▨ ⑪東京都 ▨ ⑫茨城県 ▨ ⑬埼玉県 ▨ ⑭その他の都道府県 (国外・不詳含む)



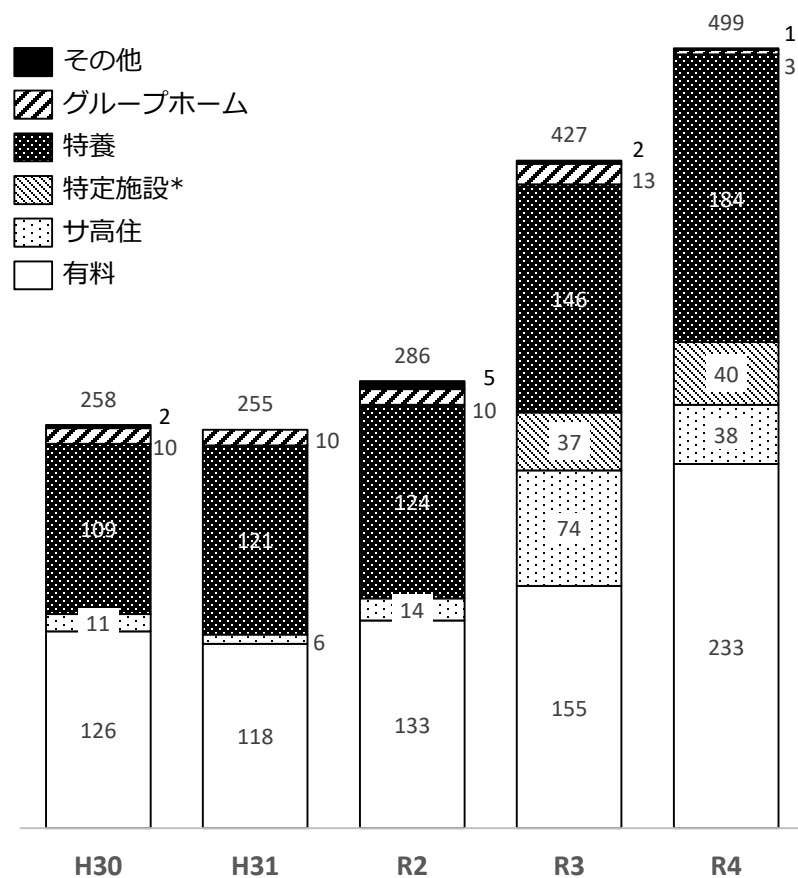
*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

老人ホームの種別ごとの看取り件数の推移

- 令和4年は老人ホームでの看取り件数は増加し、割合では有料が全体の約半分を占めている。

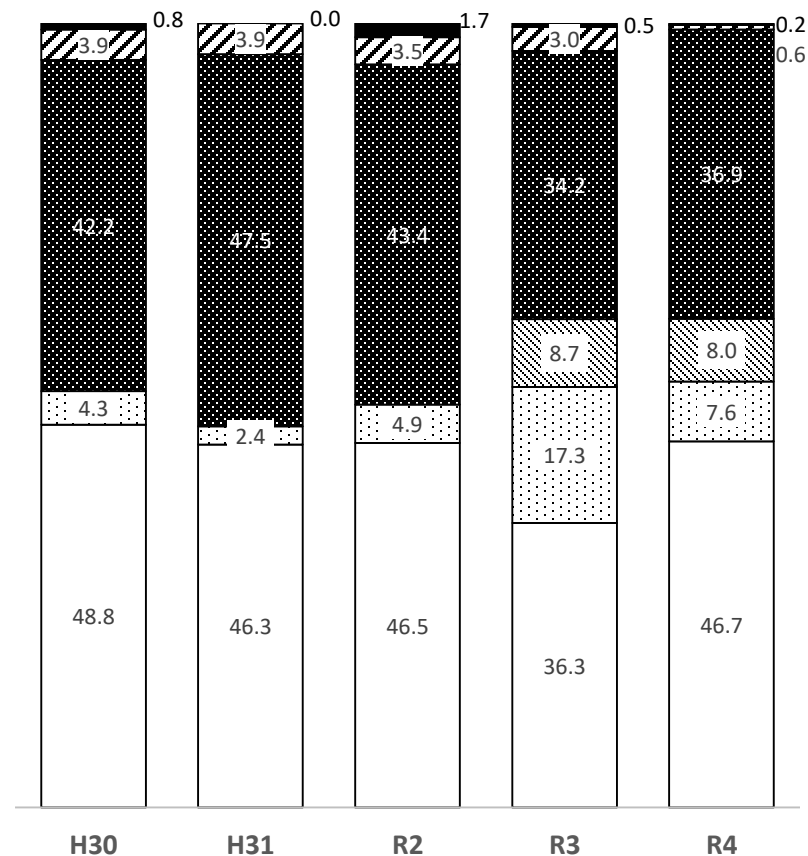
実数

(単位：人)



割合

(単位：%)



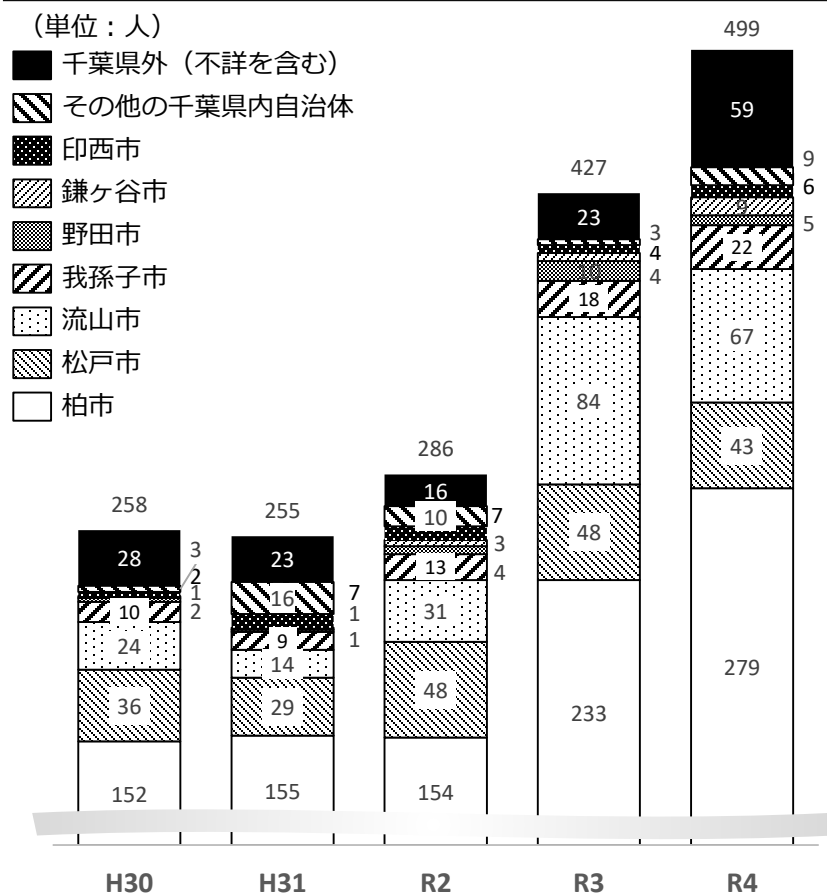
*令和3年度の調査より、老人ホーム（有料・サ高住）から特定施設を特出し、老人ホーム（特定）を項目として追加

**割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

老人ホームで看取りをした医療機関の立地ごとの看取り件数の推移

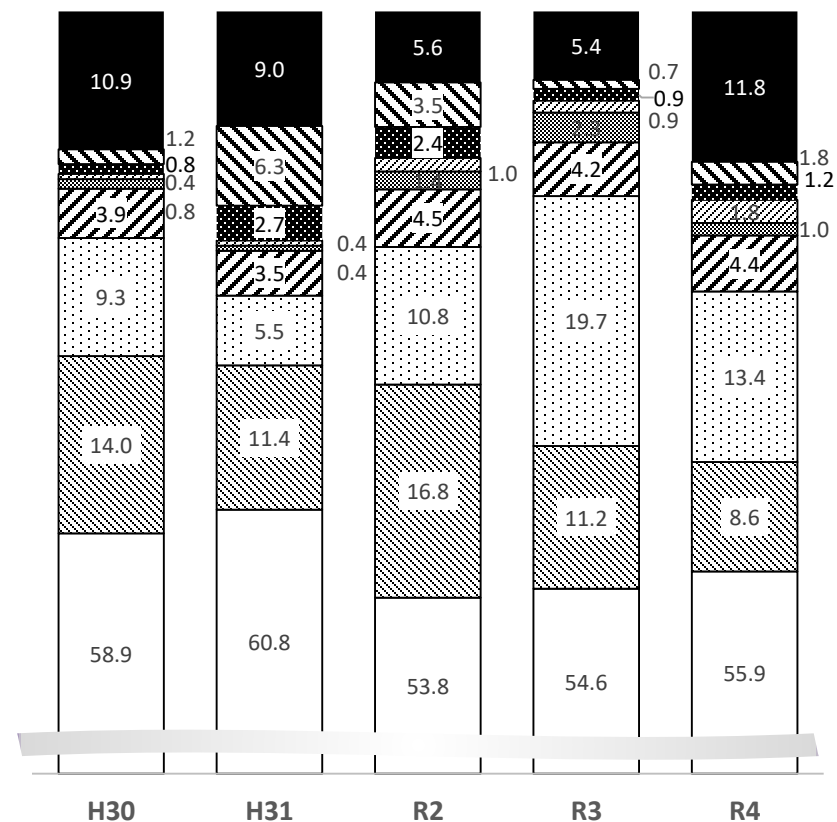
- 令和4年は、柏市内の医療機関による看取り件数及び割合が増加した。

実数



割合

(単位：%)



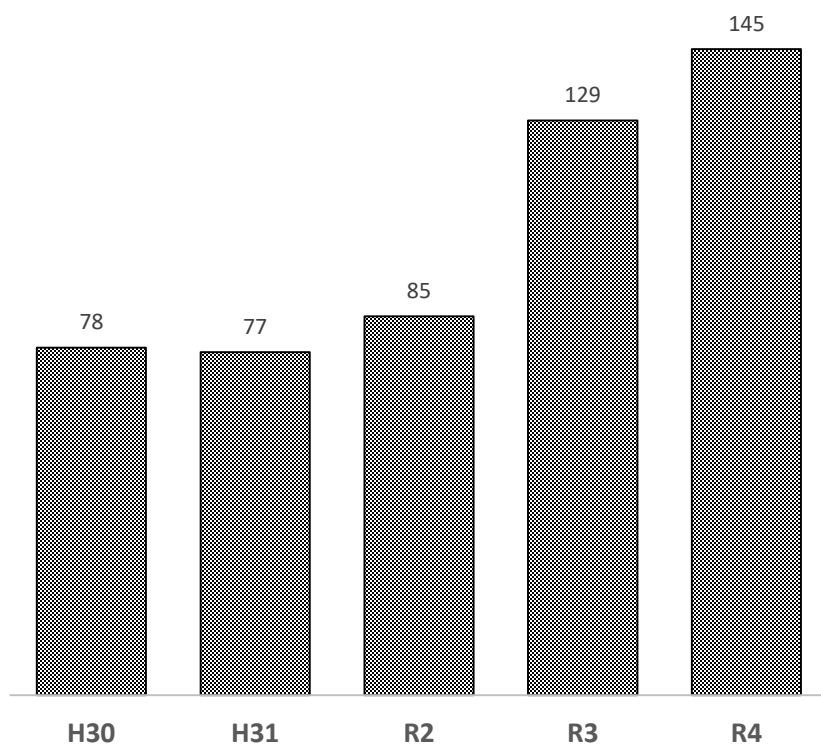
*割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とはならない

市内のエリア別の“老人ホーム”看取り死数の推移（1/2）

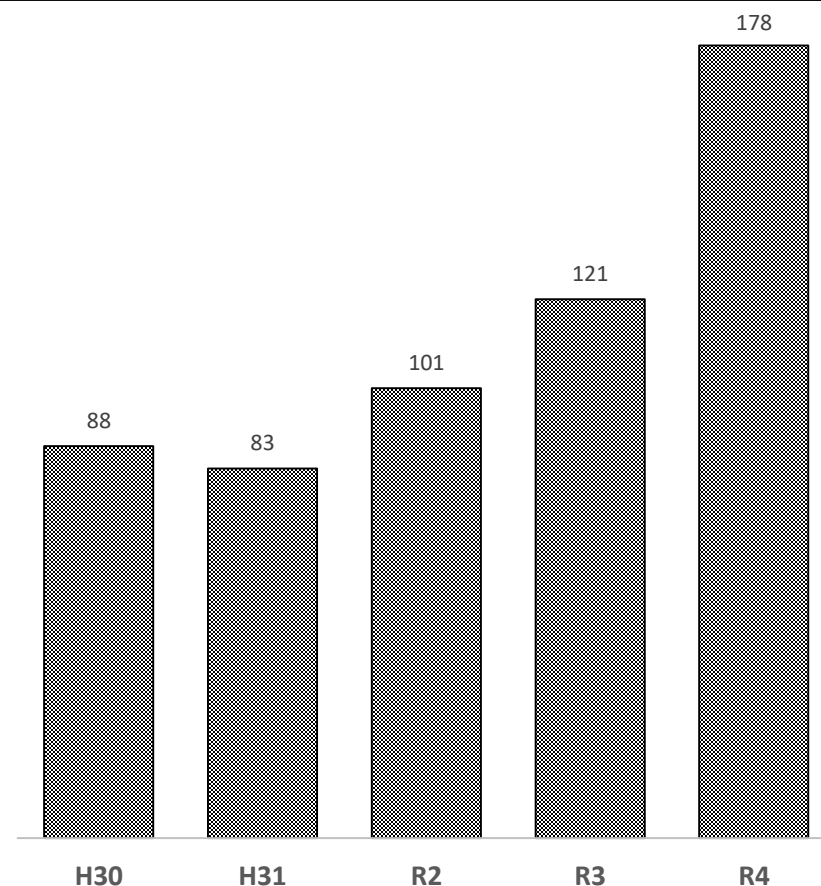
- 令和4年は北部、中央、南部エリアで看取り死数が増加し、中でも中央エリアが急増した。

北部エリア

(単位：人)



中央エリア

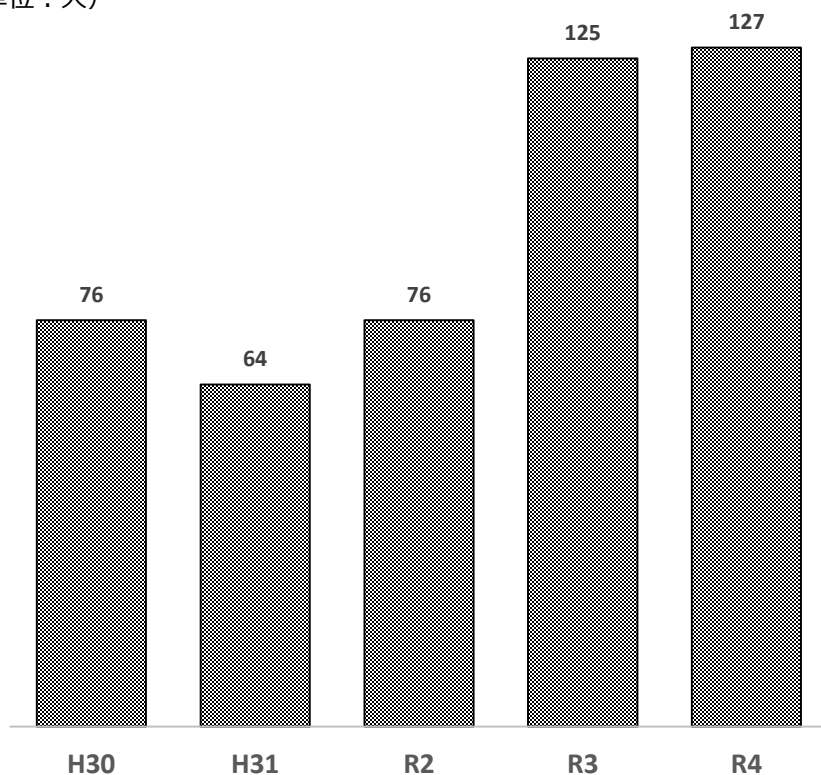


市内のエリア別の“老人ホーム”看取り死数の推移（2/2）

（前ページの続き）

南部エリア

（単位：人）



東部エリア

